



市バス 夾 地下鉄

令和5年7月 名古屋市交通局



目次	1
【はじめに】	1
【名古屋市営交通事業経営計画 2023 の理念、安全方針、コンプライアンス方針、接客方針】	2
●市営交通事業のあらまし	3
●名古屋市営交通事業経営計画	4
●事業環境の変化への対応	7
●令和5年度の予算	10
●令和5年度の取り組み	11
●令和4年度の決算見込	13
●市営交通 100 周年記念事業	14
●お客さまから信頼される交通局をめざして	
・安全の確保のために	18
・災害に備えて	26
・接客サービスの向上	29
・事故防止・マナー啓発	32
●市バス・地下鉄の料金	33
●ICカード「mana」	35
●市バス	
・市バスのあらまし	38
・運行のあらまし	39
・定時運行をめざして	41
・人と環境にやさしく	42
●地下鉄	
・地下鉄のあらまし	45
・営業線のあらまし	46
・駅施設のあらまし	48
・車両	49
・人と環境にやさしく	50
・地下鉄のあゆみ	53
●資産の有効活用	54
●情報の提供	
・情報の提供	56
・ご意見の聴取	57
●市営交通を楽しむ	58
●名古屋市交通局の組織	61
●交通局のあゆみ	62

はじめに

名古屋市の交通事業は、大正11年(1922年)に路面電車、昭和5年(1930年)に市バス、昭和32年(1957年)に地下鉄の営業を開始し、「市民生活」、「都市活動」を支える都市基盤として名古屋市の発展に寄与してきました。

現在では、市バスと地下鉄の一体的なネットワークにより、市民・利用者の皆さまの身近で利用しやすい交通手段として重要な役割を担っております。市バスは、市内全域に763kmのきめ細かな路線網を有する、機動性に優れた公共交通機関として、また、地下鉄は、6路線93kmの路線網により、高速で定時性を有する、大量輸送が可能な基幹的交通機関として、あわせて毎日約145万人の皆さまにご利用いただいています。

交通局は、令和4年8月に100周年を迎えました。これからも、法令を遵守し、ヒューマンエラーの防止に努め、安全を第一に、安心・快適でより便利な交通サービスをお届けいたします。

また、一層の経営改善に取り組むことにより、次の100年も市民・利用者の皆さまに、より信頼され、将来にわたって日常生活の移動手段の役割を担っていくことができる市バス・地下鉄をめざしてまいります。

名古屋市営交通事業経営計画2023の理念

「新たなステージへ」

私たち名古屋市交通局は、安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指します。

安全方針

職員一人ひとりが、お客さまへの安全な輸送の提供が最大の使命であることを深く認識し、安心してご利用いただける“安全・安心な市バス・地下鉄”をめざします。

- 1 安全最優先を徹底します
- 2 法令・規則等のルール、手順を確実に守ります
- 3 安全を守るための取組みを絶えず見直し改善します

コンプライアンス方針

市民及び利用者の皆さまからの信頼に応え、社会的責任を果たすために、以下のとおり行動の基本原則を定めます。

- 1 法令等を遵守し、社会規範に従い、高い倫理観を持って行動します
- 2 リスクの把握と対策に最善を尽くし、常に責任ある行動をとります
- 3 互いの人格を尊重し、ハラスメントのない職場をつくります

接客方針 “ありがとう”

私たちは、お客さまから「ありがとう」の言葉がいただけるサービスをお届けします

市バス・地下鉄は、なくてはならない市民の移動手段です



営業キロ

市バス：763km

◎公営では、長崎県営バス（1,335 km）に次いで2番目
◎名古屋と東京を往復する距離に相当

地下鉄：93km

◎公営では、東京都営地下鉄（109 km）に次いで2番目
◎地下鉄の環状線運転は、名城線が日本初

系統数・路線数

市バス：164系統

地下鉄：6路線

停留所数・駅数

市バス：1,471停留所

地下鉄：87駅

車両数

市バス：1,014両

◎公営では、東京都営バス（1,503 両）に次いで2番目

地下鉄：782両

◎公営では、東京都営地下鉄（1,206 両）に次いで2番目
◎民営をふくめると全国で4番目

1日の走行距離

市バス：10万km

◎市バス・地下鉄合わせて29万kmは、地球（1周4万km）の約7周に相当
◎地球と月（約38万km）を3日で往復する距離に相当

地下鉄：19万km

1日のお客さま数

市バス：30万人

◎市バス・地下鉄合わせて145万人は、名古屋市の人口（233万人）の約6割に相当
◎年間では、日本の人口の約4.2倍に相当

地下鉄：115万人

市内での利用割合

◎市域内移動で公共交通を利用される方の約9割が、市バス・地下鉄を利用
（第5回 中京都市圏パーソントリップ調査（平成23年）データによる）

（注）名古屋市は令和5年3月末現在（1日の走行距離及び1日のお客さま数は令和4年度決算（見込））
他事業者は令和3年度決算 人口は令和4年10月1日現在

1 計画策定の趣旨

この計画は、経済状況や人口構造の変化などの社会経済情勢の動向をふまえて、今後想定される様々な課題に的確に対応しながら、より快適で便利な輸送サービスを提供していくため策定しました。

2 計画の理念

「新たなステージへ」

私たち名古屋市交通局は、安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指します。

3 計画期間

令和元年度から令和5年度までの5年間(収支計画は令和10年度までの10年間)

4 課題及び施策

主要課題	重点施策	主な事業
・安全の確保 ・自然災害への備え ・計画的な維持管理	施策1 安全・安心の推進	・ドライブレコーダーの機能強化 ・可動式ホーム柵の整備 ・地下鉄構造物の耐震補強 など
・快適性の向上 ・移動しやすい環境の整備 ・誰もが利用しやすい環境の整備	施策2 快適・便利の向上	・地下鉄駅や駅構内トイレのリニューアル ・バスターミナルの環境改善 ・地下鉄駅ホームの冷房化の推進 など
・まちづくりと連携した交通施設の整備 ・効果的な利用促進策の展開	施策3 まちの活性化への貢献	・リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備 ・主要駅の混雑緩和対策の検討 ・効果的な駅ナカ事業の展開 など
・人材の確保・育成 ・経営基盤の強化	施策4 安定した運営基盤の確立	・制服の機能性向上 ・資産の有効活用 ・広告料収入の確保 など

5 計画の進捗状況

令和4年度の決算見込において、1日当たり乗車人員及び収支状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市バス・地下鉄とも計画目標を下回りました。



市バス事業

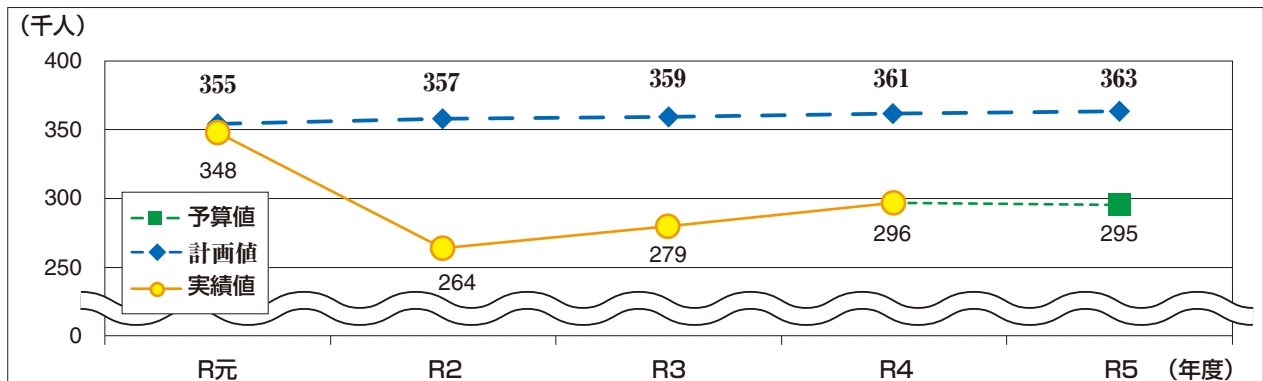
計画目標

- ・ 令和5年度に1日あたり36万人の乗車人員
- ・ 経常収支の黒字を確保
- ・ 債務超過を解消

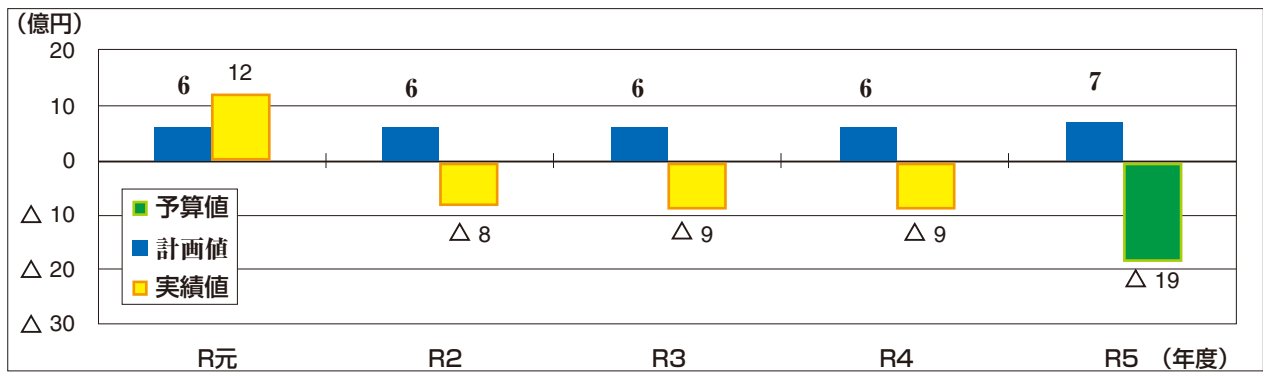
計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和4年度 計画目標(A)	令和4年度 決算(見込)(B)	差引 (B-A)
1日当たり乗車人員	361 千人	296 千人	△65 千人
経常収支	6 億円	△9 億円	△15 億円
債務超過額	—	8 億円	8億円(悪化)

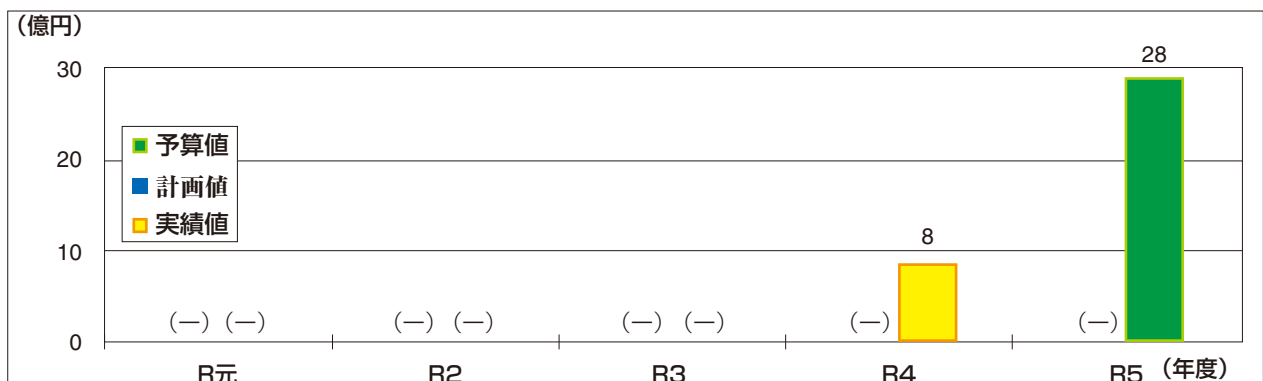
1日当たり乗車人員



経常収支



債務超過額





地下鉄事業

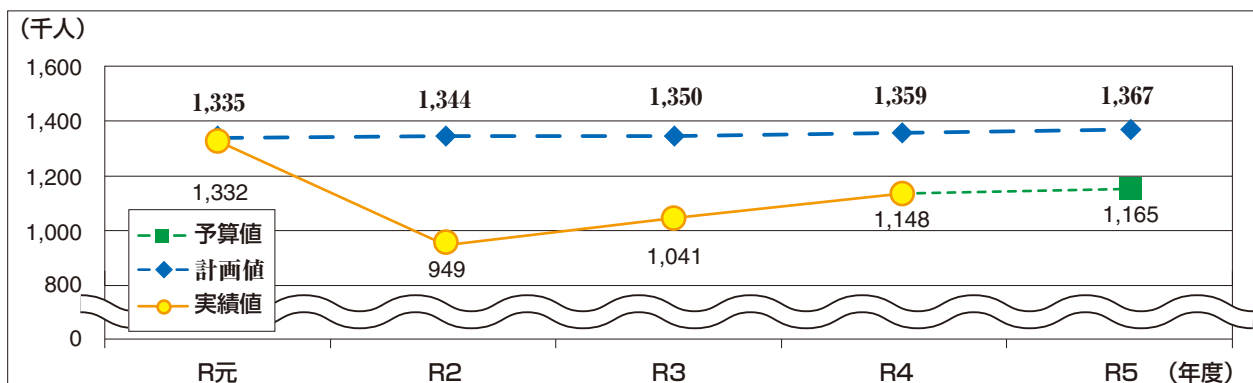
計画目標

- ・ 令和5年度に1日あたり137万人の乗車人員
- ・ 実質資金不足額を平成30年度比で840億円以上削減
- ・ 累積欠損金を平成30年度比で600億円以上削減

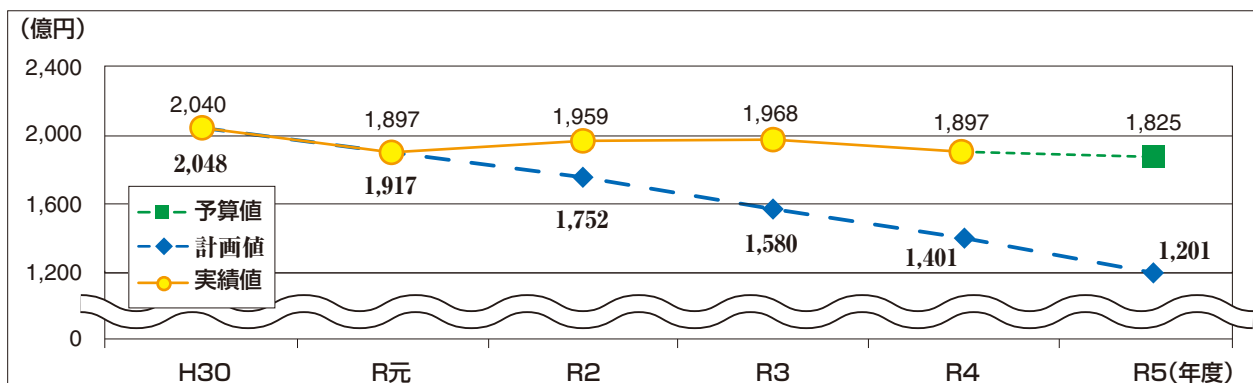
計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和4年度 計画目標(A)	令和4年度 決算（見込）(B)	差引（B-A）
1日当たり乗車人員	1,359 千人	1,148 千人	△211 千人
実質資金不足額	1,401 億円	1,897 億円	496億円(悪化)
累積欠損金	1,682 億円	2,080 億円	398億円(悪化)

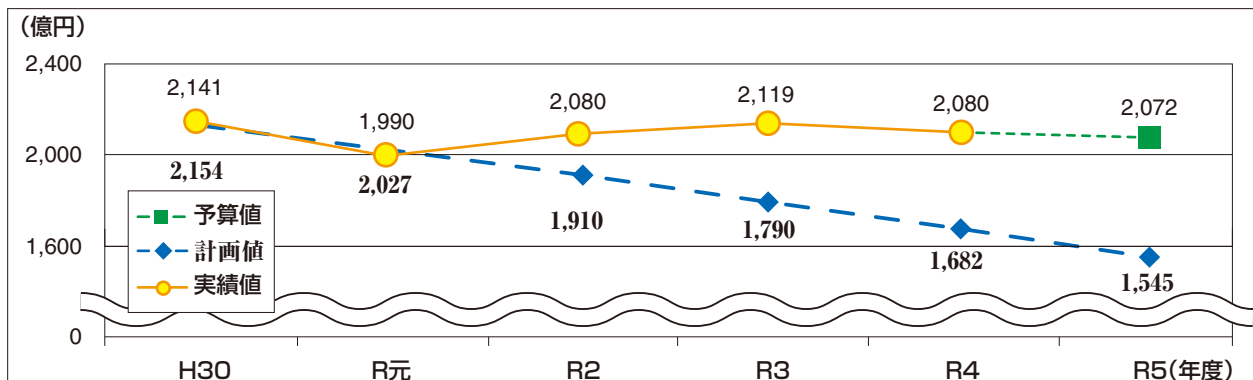
1日当たり乗車人員



実質資金不足額



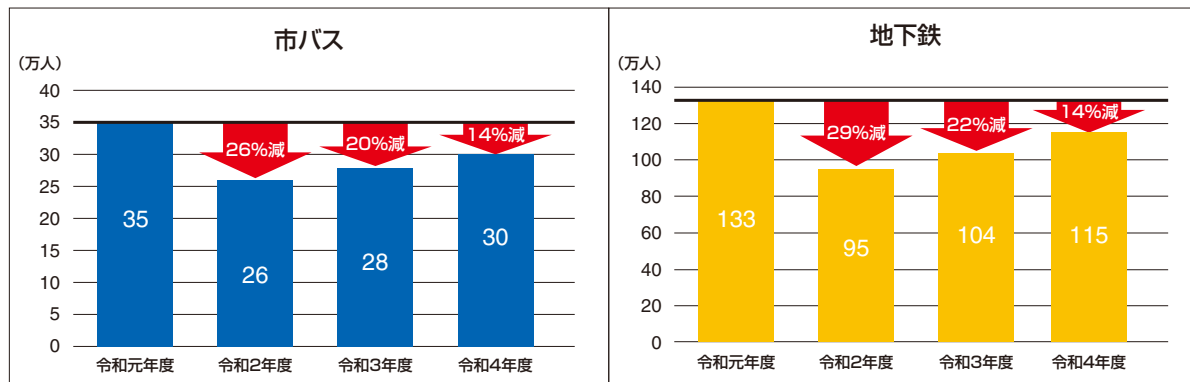
累積欠損金



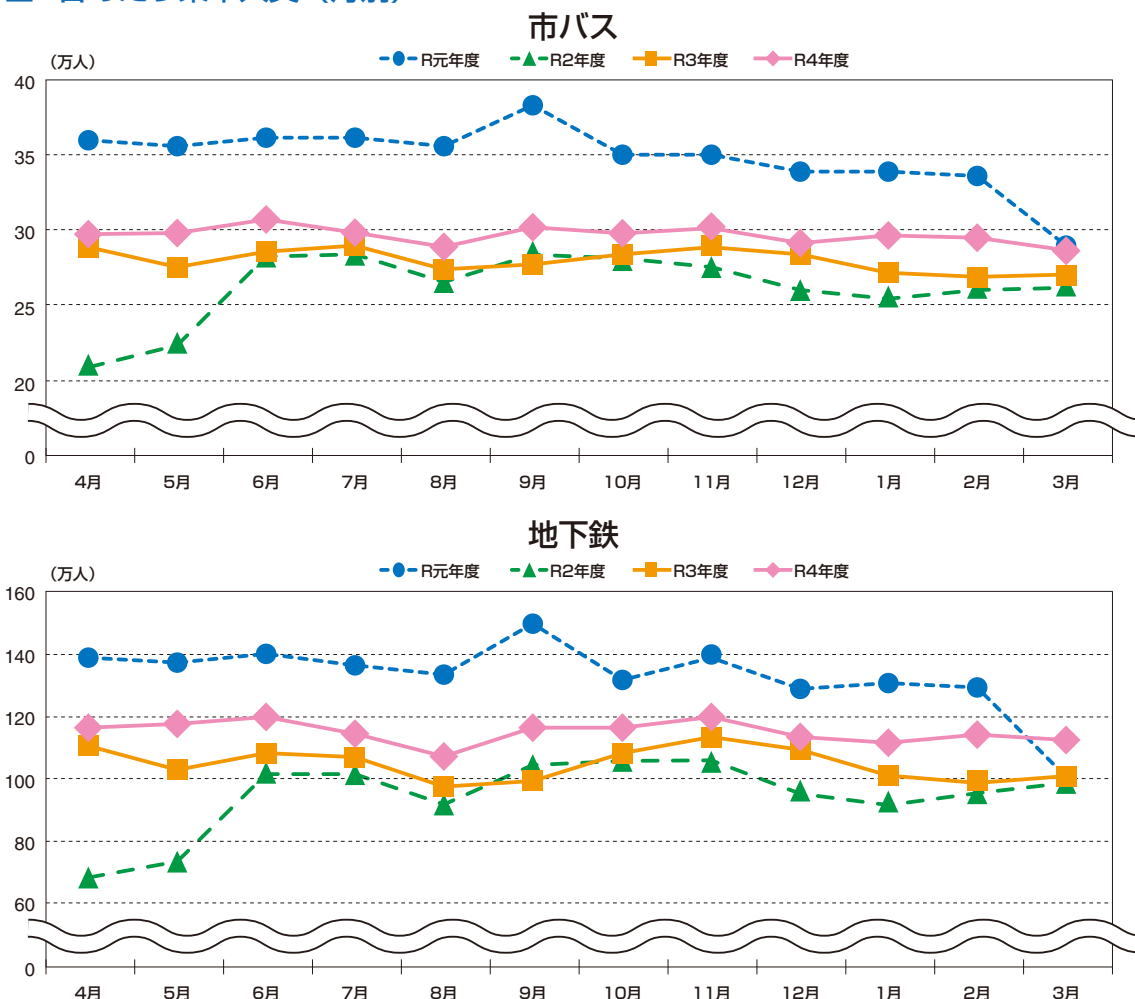
1 乗車人員の状況

令和4年度(決算見込)の市バス・地下鉄の乗車人員は、令和元年度(コロナ前)と比べて14%減少しています。これは、コロナ前と比較して、在宅勤務やオンライン授業の増加による利用の減少、買い物などの自由目的での利用の減少など、コロナの影響により変化した生活様式が継続していることが主な要因であると考えています。

■1日あたり乗車人員（年間平均）



■1日あたり乗車人員（月別）



緊急事態宣言等の期間			
令和2年2月14日	名古屋市内で新型コロナウイルス感染者を初確認	令和3年4月20日～令和3年5月11日	まん延防止等重点措置
令和2年4月16日～令和2年5月14日	緊急事態宣言(1回目)	令和3年5月12日～令和3年6月20日	緊急事態宣言(3回目)
令和2年5月15日～令和2年5月25日	《愛知県独自》緊急事態宣言	令和3年6月21日～令和3年7月11日	まん延防止等重点措置
令和2年8月6日～令和2年8月24日	《愛知県独自》緊急事態宣言	令和3年8月8日～令和3年8月26日	まん延防止等重点措置
令和3年1月14日～令和3年2月28日	緊急事態宣言(2回目)	令和3年8月27日～令和3年9月30日	緊急事態宣言(4回目)
		令和4年1月21日～令和4年3月21日	まん延防止等重点措置

2 対応内容の推移

区 分	事 項	内 容
令和2年度	市バス	深夜時間帯の運行の休止 深夜1、2系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止 (対象系統) 深夜1系統(栄～藤が丘) 深夜2系統(栄～地下鉄高畑) 金曜日・休前日の午後11時30分発の系統 ・幹星丘1系統(星ヶ丘発左回り星ヶ丘行き〔極楽経由〕) ・高畑16系統(地下鉄高畑発河合小橋行き) (期間) 休止 令和2年4月24日～令和2年6月4日 再開 令和2年6月5日～令和2年8月6日 休止 令和2年8月7日～
	地下鉄	深夜時間帯の運行の休止 東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止 (路線) 東山線(上下線各2本) (期間) 休止 令和2年4月24日(金)～令和2年5月29日(金) 再開 令和2年6月5日(金)～令和2年7月31日(金) 休止 令和2年8月7日(金)～
	地下鉄駅コンシェルジュの一時休止	国内外の旅行者が激減したため、駅への配置を一時休止 (配置 駅) 名古屋駅、栄駅、金山駅 (休止期間) 令和2年5月

区 分	事 項	内 容
令和3年度	市バス	深夜時間帯の運行の休止 深夜1、2系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止を継続 2年度と同じ
	地下鉄	深夜時間帯の運行の休止 東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止を継続 2年度と同じ
	地下鉄駅コンシェルジュの休止	国内外の旅行者が減少しているため、駅への配置を休止 (配置 駅) 名古屋駅、栄駅、金山駅 (休止期間) 令和3年4月～
	市バス・地下鉄	市バス・地下鉄の利用実態調査 「新しい生活様式」の実践による利用動向の変化等を把握するための調査 ・インターネットによるアンケート調査 ・市バス・地下鉄利用者計5,500人 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止を予防するための「新しい生活様式」が、市バス・地下鉄利用者の利用動向に及ぼす影響の調査
	他都市の経営実態調査	他都市の具体的な経営実態調査 局内事業推進ワーキングにおいて、他都市の経営実態に関する調査、比較、分析の実施

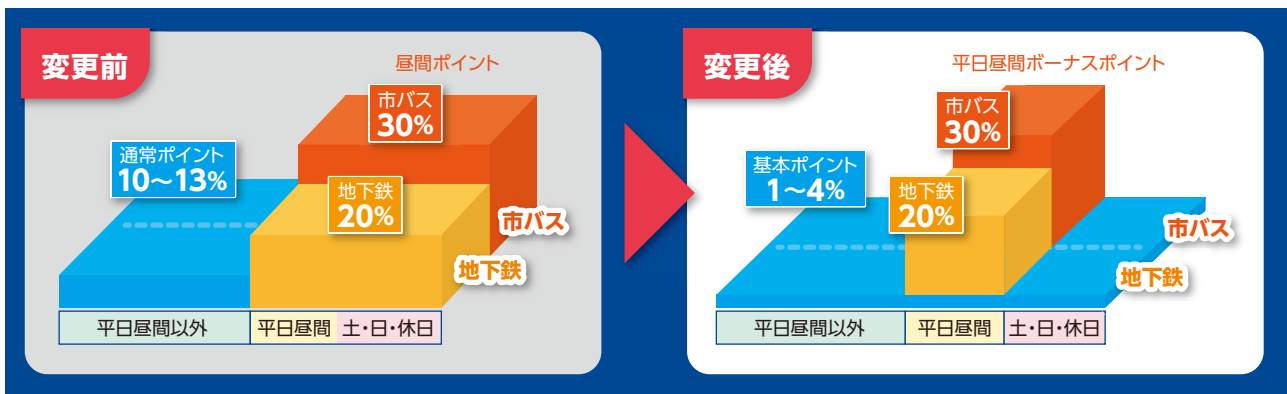
区 分	事 項	内 容
令和4年度	市バス	バス路線の再編成 市民の身近な移動手段である市バスの機能を維持しつつ、お客さまの利用動向の変化や道路開通などに対応するバス路線への見直し a 名鉄・JR東海の駅に接続する路線の新設・拡充 b 道路開通区間への路線の新設 c 長大路線や鉄道並行路線の見直し (改正日) 令和4年4月2日
	深夜時間帯の運行の休止	深夜1、2系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止を継続 3年度と同じ
	地下鉄	地下鉄東山線のダイヤ改正 市民の身近な移動手段である地下鉄の利便性に配慮しつつ、お客さまの利用動向の変化に対応するダイヤへの見直し a 始発時刻及び終発時刻は現行維持 b 平日の昼間時間帯の運転間隔 5分→6分に変更 c 平日の23時台の運転間隔 8分→10分に変更 d 土休日の昼間時間帯の運転間隔 4～5分→5分に変更 (改正日) 令和4年9月17日
	深夜時間帯の運行の休止	東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止を継続 3年度と同じ
	地下鉄駅コンシェルジュの休止	国内外の旅行者が減少しているため、駅への配置の休止を継続 3年度と同じ
	市バス・地下鉄	経営改善に向けた組織体制の強化 新型コロナウイルス感染症の終息後を見据え、局内横断的に経営改善に取り組むため新設 企画財務部参事、企画財務部主幹 (設置) 令和4年4月1日

区 分	事 項	内 容
令和5年度	市バス	深夜時間帯の運行の休止 深夜1、2系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止を継続
	地下鉄	地下鉄のダイヤ改正 市民の身近な移動手段である地下鉄の利便性に配慮しつつ、お客さまの利用動向の変化に対応するダイヤへの見直し ・桜通線 （令和5年9月(予定)） ・鶴舞線、上飯田線 （令和6年3月(予定)）
		(桜通線、鶴舞線共通) a 始発時刻及び終発時刻は現行維持 b 平日の昼間時間帯の運転間隔 現行7分30秒→10分に変更 c 土休日の朝間時間帯の運転間隔 現行6分→7分30秒に変更(鶴舞線) a 平日の朝間時間帯の運転間隔 現行4分→4分30秒に変更 b 平日の夕間時間帯の運転間隔 現行5分→6分に変更 ※上飯田線は、名古屋鉄道株式会社と協議の上決定
		深夜時間帯の運行の休止 東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止を継続
	地下鉄駅コンシェルジュの休止	国内外の旅行者が減少しているため、駅への配置の休止を継続
	市バス・地下鉄	マナカマイレージポイントの制度変更 ポイントを共通利用している他のマナカ交通事業者とのポイント水準の均衡を図るとともに、平日のピークシフトを促進するため、ポイントの付与方法を変更

■マナカマイレージポイントの制度変更

ポイントを共通利用している他のマナカ交通事業者とのポイント水準の均衡を図るとともに、平日のピークシフトを促進するため、令和5年7月1日（土）よりマナカマイレージポイントのポイント率などを変更

- 利用時間帯ごとに異なるポイントを、すべての時間帯に共通の**基本ポイント**に変更
- ポイント率を変更
- 平日昼間時間帯の**ボーナスポイント**を新設



令和5年度予算では取り組みの方針を、『新型コロナウイルス感染症の影響やエネルギー価格の高騰など社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、名古屋市営交通事業経営計画2023の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に推進します。』とし、「新型コロナウイルス感染症等への対応」、「安全・安心の推進」、「快適・便利の向上」、「まちの活性化への貢献」及び「安定した運営基盤の確立」に重点を置いた予算編成を行いました。

■市バス事業

1. 業務の予定量

(1) 車両数	年度末	1,014両
(2) 運転キロ	1日	98,200キロメートル
(3) 乗車人員	1日	294,500人

2. 収支の状況

収益的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和5年度予算
収入	経常収入	25,741
	営業収益	19,111
	うち運輸収益	15,558
	営業外収益	6,630
	うち一般会計補助金	6,404
支出	経常支出	27,259
	営業費用	27,105
	うち人件費	13,895
	営業外費用	144
	その他	10
営業収支		△ 8,086
経常収支		△ 1,863
特別収支		—
純損益		△ 1,863
累積欠損金		△ 37,204

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和5年度予算
収入	資本的収入	3,807
	企業債	3,727
	その他	80
支出	資本的支出	5,369
	建設改良費	3,844
	企業債償還金	1,515
	その他	10
資本的収支		△ 1,562
資金不足額		△ 67
企業債残高		8,137
債務超過		2,823

■地下鉄事業

1. 業務の予定量

(1) 車両数	年度末	782両 (135編成)
(2) 運転キロ	1日	182,200キロメートル
(3) 乗車人員	1日	1,164,700人

2. 収支の状況

収益的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和5年度予算
収入	経常収入	88,264
	営業収益	79,740
	うち運輸収益	73,531
	営業外収益	8,524
	うち一般会計補助金	5,037
支出	経常支出	84,566
	営業費用	77,696
	うち人件費	26,926
	うち減価償却費	23,956
	営業外費用	6,860
	うち支払利息	3,469
	その他	10
営業収支		△ 2,464
経常収支		2,292
特例債元金償還補助金		4,049
実質経常収支 (※1)		△ 1,757
特別収支		—
純損益		2,292
累積欠損金		△ 207,215

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和5年度予算
収入	資本的収入	19,531
	企業債	13,620
	一般会計出資金	3,232
	一般会計補助金	1,771
	国庫補助金	633
	その他	275
支出	資本的支出	48,109
	建設改良費	17,315
	企業債償還金	15,932
	平準化償還金	4,038
	特例償還金	4,049
	緩和償還金	6,765
	その他	10
資本的収支		△ 28,578
資金不足額		△ 54,955
資金手当債残高		127,558
実質資金不足額 (※2)		△ 182,513
企業債残高		357,581

(※1) 実質経常収支

実質的な経営成績を表すために、一般会計補助金のうち「特例債元金償還補助金」を経常収支から除いたもの。

(※2) 実質資金不足額

実質的な資金不足の実態を表すために、資金不足を補うために発行した企業債の残高を含むもの。

■主な施策

(1) 新型コロナウイルス感染症等への対応

ア 新型コロナウイルス感染症対策

- (ア) バス車両の抗ウイルス加工
- (イ) バス・地下鉄車両の消毒清掃
- (ウ) 駅構内トイレへの手洗い石鹸の設置
- (エ) 職員向け衛生用品等の配備

イ 事業環境変化への対応

(ア) 地下鉄のダイヤ改正

桜通線（令和5年9月実施予定）、鶴舞線・上飯田線（令和6年3月実施予定）
主要内容

- a 桜通線、鶴舞線共通
始発時刻及び終発時刻は現行を維持
平日の昼間時間帯の運転間隔を現行の7分30秒から10分へ変更
土休日の朝間時間帯の運転間隔を現行の6分から7分30秒へ変更
- b 鶴舞線
平日の朝間時間帯の運転間隔を現行の4分から4分30秒へ変更
平日の夕間時間帯の運転間隔を現行の5分から6分へ変更
- ※ 上飯田線は名古屋鉄道株式会社と協議の上決定

- (イ) 深夜時間帯の運行の休止
バス 深夜1、2系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止を継続
地下鉄 東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止を継続
- (ウ) 地下鉄駅コンシェルジュの休止
- (エ) マナカマイレージポイントの制度変更

(2) 安全・安心の推進

ア 安全対策の強化

- (ア) ドライブレコーダーの機能強化 182両
- (イ) バス車両への安全確認放送装置の設置 95両
- (ウ) 鶴舞線可動式ホーム柵の整備
- (エ) 桜通線可動式ホーム柵の支障物センサの更新
- (オ) 駅構内カメラの機能強化

(カ) 地下鉄車内カメラの設置

東山線 12両（2編成）

- (キ) 運輸安全マネジメントの推進

イ 自然災害への備え

- (ア) 地下鉄構造物の耐震補強 1駅及び2区間

ウ 計画的な維持管理

- (ア) 第2変電所の移設
- (イ) 地下鉄構造物の長寿命化
- (ウ) 地下鉄電気設備の更新
- (エ) 地下鉄駅エレベーター・エスカレーターの更新
- (オ) 地下鉄車両の主要電気機器更新

(3) 快適・便利の向上

ア 施設のリニューアル

- (ア) バスターミナルの環境改善
- (イ) バス停留所施設の整備・改修
- (ウ) 地下鉄駅のリニューアル
工事 栄駅（名城線）、上前津駅（名城線）、名城公園駅
- (エ) 地下鉄駅構内トイレのリニューアル
工事 今池駅始め9駅9箇所 設計 名古屋駅始め7駅8箇所
- (オ) 地下鉄駅ホームの冷房化
工事 上社駅、本郷駅、藤が丘駅、丸の内駅（鶴舞線、桜通線）、
名城公園駅、御器所駅（鶴舞線）
設計 瑞穂運動場東駅、御器所駅（桜通線）、瑞穂運動場西駅

イ 人にやさしい環境づくり

- (ア) バス車両の更新 107両
- (イ) 燃料電池バスの試行導入 1両
- (ウ) 名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消
大曽根駅、ナゴヤドーム前矢田駅、妙音通駅、堀田駅、西高蔵駅
- (エ) 地下鉄駅エレベーターの整備
工事 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅
設計 瑞穂運動場西駅
- (オ) バス停標識及び地下鉄駅構内等の照明のLED化

ウ わかりやすく利用しやすい環境づくり

- (ア) バス車内への液晶式停留所名表示器の設置 107両
- (イ) バス停留所へののりば番号の表示
- (ウ) バス料金箱の更新

(エ) 地下鉄運行情報提供大型モニター等の導入

運行情報等を誰にもわかりやすく提供するため、画像や多言語で表示する大型モニターを、主要駅の改札口付近に設置
名古屋駅、栄駅、金山駅

- (オ) バス全線一日乗車券デジタルチケットの試行導入

(4) まちの活性化への貢献

ア 拠点エリアの駅機能強化

- (ア) リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅周辺まちづくり等への対応
- (イ) 主要駅の混雑緩和対策の検討

イ 効果的な利用促進策の展開

- (ア) 高齢者向け利用促進策
 - a ウォーキングイベントの拡充
 - b 敬老バス利用促進キャンペーンの実施
- (イ) プロスポーツチームと連携した利用促進策
- (ウ) その他の利用促進策
 - a スタンプラリーの実施
 - b 体験型謎解きイベントの実施
 - c オリジナル一日乗車券等の発売
 - d 環境に配慮した交通局オリジナルグッズの開発

(5) 安定した運営基盤の確立

ア 人材の確保・育成

- (ア) 安定的な人材確保のための取り組みの実施
- (イ) 働きやすい環境づくり

イ 経営基盤の強化

- (ア) バス事業運営費負担金の繰入
- (イ) エコドライブによる燃料費の削減
- (ウ) 地下鉄車両の検査周期の見直し
- (エ) 資産の有効活用 名城公園駅構内店舗の整備（令和6年度完成予定）
- (オ) 広告料収入の確保
 - a 地下鉄車内デジタルサイネージ広告の設置 東山線126両（21編成）
 - b 大型デジタルサイネージ広告の設置 名古屋駅（東山線）
 - c AIを活用したデジタルサイネージ広告の販売促進

(6) その他

ア 次期経営計画の策定

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響など社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、「名古屋市営交通事業経営計画2023」の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に実施することを基本に、「安全・安心の推進」、「快適・便利の向上」、「まちの活性化への貢献」及び「安定した運営基盤の確立」に重点的に取り組みました。

こうした中、経営状況については、経常損益及び純損益が自動車運送事業は3年連続の赤字、高速度鉄道事業は3年振りの黒字となりましたが、両事業とも多額の累積欠損金を抱えており、非常に厳しい経営状況になっています。

■市バス事業

1. 業務量

(1) 車両数	年度末	1,014両
(2) 運転キロ	1日	98,268キロメートル
(3) 乗車人員	1日	295,508人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	経常収入	24,218
	営業収益	17,989
	うち運輸収益	14,496
	営業外収益	6,229
	うち一般会計補助金	6,031
支出	経常支出	25,102
	営業費用	24,725
	うち人件費	13,420
	営業外費用	377
営業収支		△ 6,736
経常収支		△ 884
特別収支		—
純損益		△ 884
累積欠損金		△ 35,173

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	資本的収入	2,066
	企業債	1,993
	高速度鉄道事業会計出資金	39
	その他	34
支出	資本的支出	3,996
	建設改良費	2,068
	企業債償還金	1,512
	借入金返還金	416
資本的収支		△ 1,930
企業債残高		5,635
債務超過		793

■地下鉄事業

1. 業務量

(1) 車両数	年度末	782両 (135編成)
(2) 運転キロ	1日	185,947キロメートル
(3) 乗車人員	1日	1,147,932人

2. 収支の状況

収益的収支		(税抜 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	経常収入	79,403
	営業収益	71,352
	うち運輸収益	65,481
	営業外収益	8,051
	うち一般会計補助金	4,254
支出	経常支出	75,470
	営業費用	71,383
	うち人件費	26,370
	うち減価償却費	23,843
営業外費用		4,087
うち支払利息		3,653
営業収支		△ 31
経常収支		3,933
特別償元金償還補助金		2,176
実質経常収支 (※1)		1,757
特別収支		—
純損益		3,933
累積欠損金		△ 207,981

資本的収支		(税込 単位：百万円)
区 分		令和4年度見込
収入	資本的収入	12,812
	企業債	8,636
	一般会計出資金	2,147
	貸付金返還金	78
	一般会計補助金	1,415
	国庫補助金	210
	その他	326
支出	資本的支出	43,257
	建設改良費	10,960
	企業債償還金	17,558
	平準化償還金	3,086
	特例償還金	2,176
	緩和償還金	9,438
	その他	39
資本的収支		△ 30,445
資金不足額		△ 52,241
資金手当償還金		137,451
実質資金不足額 (※2)		△ 189,692
企業債残高		370,350

(※1) 実質経常収支

実質的な経営成績を表すために、一般会計補助金のうち「特別償元金償還補助金」を経常収支から除いたもの。

(※2) 実質資金不足額

実質的な資金不足の実態を表すために、資金不足を補うために発行した企業債の残高を含むもの。

■概要

市営交通は、令和4年8月1日に100周年を迎えました。市営交通100周年にあたり、お客さまに感謝を伝えるとともに、市営交通への理解と愛着を更に深めていただくことを目的として、令和3年度から令和5年度にかけて各種事業を実施しています。

(基本コンセプト)

- ・お客さまや地域とともに歩んだ歴史を振り返り、ご愛顧に感謝を伝えます
- ・市営交通への理解と愛着をより一層深めていただく契機とします
- ・100周年を出発点として、お客さまや地域とともに未来へ向かいます

(ロゴマーク)

(キャッチコピー)



「これからも、街をむすぶ。人をつなぐ。」

(事業の愛称)

「市営交通100年祭」

■市民アイデアの募集

市民やお客さまに市営交通への愛着をより一層深めていただけるよう事業内容について、市民アイデアの募集を行いました。

募集期間 令和3年5月(1か月) 応募総数 334件

主な応募アイデア イベントの実施内容(工場見学、運転体験、トンネルウォーク等)
オリジナルグッズに関するもの(模型等) 特別デザイン車両(復刻デザイン車両等)

■記念式典&市営交通100年祭メインイベント「100YEARS FESTIVAL!!」

令和4年11月12日(土)に記念式典とメインイベントを中小企業振興会館(吹上ホール)で開催しました。記念式典は、100年間の感謝と、次の100年に向けて、引き続き安全・安心な市営交通の運行を確保していくという決意を表明し、新たな門出を記念する出発式として実施。また、新制服や交通局ロゴマークの披露等を行いました。

メインイベントでは、交通局初となるプロジェクションマッピングを用いた映像コンテンツや、市バス・地下鉄運転士の職業体験などの体験型コンテンツ、市営交通の歴史を楽しく学べる展示コーナーなどで、幅広い層の方々に楽しんでいただきました。



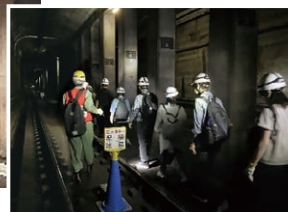
■普段入ることのできない施設への参加者限定特別見学ツアー等

○夜間トンネルウォーク

令和4年9月23日(金)深夜に開催しました。

地下鉄営業時間外にトンネル内を歩くイベントは、交通局初の試みでしたが、募集80名のところ3,600名余と多くの方から応募をいただきました。

駅間1区間のトンネル内を歩くほか、モーターカーの乗車体験、高所作業台車の実演、軌道検測車等の大型保守用機械の展示・解説を実施しました。



○工場見学会

令和4年10月22日(土)に、地下鉄車両工場の工場見学会を開催しました。

「地下鉄車両の吊り上げ実演」や電車の屋根や床下を間近で見られる「電車を上から下から見てみよう」をメインとして、計3回実施。

また、最後の1編成となった鶴舞線3000形の特別列車(赤池~八事駅間を往復)への乗車や地下鉄駅の見学ツアー・地下鉄運転体験と工場見学会がセットになった特別プランも盛況でした。



○市営交通100周年お誕生日会(令和4年8月1日)

○市バス・地下鉄合同防災教室(令和4年8月10日)

○市バス営業所見学会(令和4年12月3日)

■クラウドファンディングによる復刻デザイン車両の運行

○ウィンザーイエロー再び！「黄電復活」応援プロジェクト

令和4年8月1日(月)に、「黄電メモリアルトレイン」の出発式を東山線藤が丘駅で行いました。抽選で選ばれた4人の小学生が100周年を記念して描いた絵を局長等幹部職員に贈呈し、幹部職員からは、記念品が手渡されました。その後「黄電メモリアルトレイン」が入線し、記念撮影の後、局長の「出発進行！」の合図により営業運転を開始しました。(東山線(1編成 令和4年8月1日～令和5年1月22日)名城・名港線(1編成 令和4年8月8日～令和5年1月29日))

「黄電復活」応援プロジェクトクラウドファンディング 申込者196名 寄附金総額 2,535,300円



○昭和にタイムスリップ!?復刻デザイン『レトロカラーバス』応援プロジェクト

かつて名古屋市内を運行していた市バス・市電・花バスを、市バス車両を当時のデザインに塗装又はラッピングした「レトロカラーバス」として復刻。(11両)

令和元年度から運行していた1両を加え全12両の運行を令和4年11月13日(日)から開始しました。(令和元年度から運行していた1両は令和5年3月に運行終了)

「レトロカラーバス」応援プロジェクトクラウドファンディング 申込者117名 寄附金総額 2,283,100円



■民間事業者等と連携して実施した事業等

○交通局×ユーハイム「ハッピーバスデースタンプラリー」(令和4年9月12日～26日)

同じ100周年である株式会社ユーハイムとコラボし、スタンプを4つ以上集めるとバウムクーヘンがもらえるほか、コンプリートした方にユーハイムのお菓子1年分などが抽選で当たる「ハッピーバスデースタンプラリー」を行いました。



○レゴ®ブロックで製作した地下鉄案内図の設置(令和4年10月27日、12月5日)

レゴランド・ジャパン合同会社からレゴ®ブロックで製作した地下鉄案内図の寄贈を受け、名古屋駅、栄駅、市役所駅、東山公園駅の4駅に設置しました。



○市営交通100周年×名古屋グランパス クラブ30周年コラボ

令和4年に、交通局が市営交通100周年、名古屋グランパスがクラブ30周年を迎えるにあたり、利用者・ファンに感謝の気持ちを伝えとともに、利用者・ファンの裾野を相互に広げることが目的に、令和4年7月6日(水)から10月29日(土)まで、名古屋グランパスの試合開催日に、市バス・地下鉄職員が、コラボポロシャツを着用しました。

ポロシャツの着用開始日には、交通局長が名古屋グランパスレジェンドの榎崎正剛氏を金山駅の一日駅長に任命し、地下鉄の出発指示合図などを行うキックオフセレモニーを実施しました。



一日駅長任命式の様子

■記念グッズ等の発売

令和3年度は「タオルハンカチ」、「電車型ペンケース」、「走る！バス型キーホルダー」、なつかしの市電をあしらった「長寿箸」を発売しました。

令和4年度は、「市電型メジャー」、「駅名標ティッシュケース」、「都心ループバス模型」など合わせて9種類のグッズを発売しました。



■100周年記念乗車券

市営交通100年の歴史で象徴的な出来事を券面デザインに採用し、当時の市民の想いを今日の市民・利用者に共感していただき、過去から未来へ想いをつなぎ、今後の発展にも期待いただくことをコンセプトに発行。第1弾の購入特典には、全3種を収納できる台紙をプレゼントしました。



100周年乗車券

第1弾：1922年 市営交通事業誕生のころ・1930 市営バスの創業
第2弾：1957年 地下鉄の開通(名古屋・栄間2.4km)
第3弾：2022年 市営交通の過去・現在・未来



台紙おもて面



台紙なか面

発売 令和4年8月1日
発売 令和4年11月12日
発売 令和5年2月1日

■制服のリニューアル

市営交通100周年を契機として、28年ぶりに制服のリニューアルを行いました。新制服は、信頼感や落ち着いた印象を与える青色系統のネイビーを基調としています。また、業務をより安全・快適に行うことができるよう機能性を向上させるとともに、通気性や伸縮性の良さ、植物由来のものや再生ポリエステルなど環境に配慮した素材を使用しています。
(着用開始日 令和4年12月1日)



■名古屋市交通局ロゴマークの制定

これからの100年に向けて、「人のつながりが街を支える」をコンセプトとするシンボルマーク（左側の青いマーク）とオリジナルフォントのロゴタイプ（文字のデザイン）を組み合わせた名古屋市交通局ロゴマークを新たに制定しました。このロゴマークとともに、次の100年へ走り続けます。
(令和4年11月12日から、交通局が提供するサービス・商品、発信する情報などに表示)



(シンボルマークのコンセプト)

【人のつながりが街を支える】

- ・全体のフォルムは、交通の「交」を現す。
- ・下段の人の形で人（職員）が支える交通システムを、
- ・上段の人の形で活動する人と、人のつながりによる街を示す。
- ・色（青）が、信頼・誠実・安定感を象徴する。



■市営交通100周年記念事業PR

○カウントダウンボードの設置

100周年の100日前である令和4年4月23日から、名古屋・栄・金山駅にカウントダウンボードを設置し、100周年を盛り上げました。

○PRポスターの掲出

名古屋の街を1世紀にわたり支えてきた市営交通のこれまでの歩み、未来に向けた希望を描いたPRポスターを市バス・地下鉄の車内や駅構内等に掲出しました。

○PRパンフレットの発行

市営交通の歴史を楽しく解説した「100th路線図」や、わかりやすいイラストを使った「市バス×地下鉄車両図鑑」など、お子さまも楽しめるPRパンフレット～わたしたちの市営交通 いままでとこれから～を発行しました。

○PR動画の放映

名古屋の街をむすび、人をつないで100年。お客さまの「何気ない日常」を、これからも未来へとつなぎ、決意を新たに走り続けることを伝える100周年PR動画を作成し、YouTubeや駅構内デジタルサイネージ広告等で放映しました。

○100年祭サイト・Twitter

100周年の1年前である令和3年8月1日から100年祭サイトを開設し、100年のあゆみ、各種イベントやオリジナルグッズの情報等を掲載しています。また、100年祭Twitterでは、その日の市営交通に関する出来事を発信したほか、100年祭の各種情報を発信しています。

○「市営交通100年祭」PRパートナー

交通局と共に「市営交通100年祭」をPRするパートナーを企業・団体から募集しました。

募集期間 令和3年10月25日～令和5年5月31日 ※募集受付は終了しました。

PR内容 ・100年祭サイトのURLのリンクを自社ウェブサイトにする

・100周年PRポスターの店舗等での掲出 等

パートナー参加企業等 90社（令和5年3月末時点）



PRパンフレット



PR動画

■パネル展

名古屋の街や市民の暮らしの風景とともに写し出された市電・市バス・地下鉄の写真パネル展を市政資料館、区役所・支所（11か所）、イオンモール名古屋茶屋3階 未来屋書店、鶴舞中央図書館及び名古屋都市センターで開催しました。市営交通の歴史とともに、今では見られなくなった風景などをお楽しみいただきました。



市政資料館



港区役所



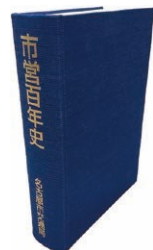
未来屋書店



鶴舞中央図書館

■市営百年史

市営交通として市民生活を支えてきた足跡を、後世に伝えていくため、各事業の資料をまとめたもので、「市営五十年史」の後継となる市営交通100年の記録誌として令和4年度に発行しました。



交通局では、市バス・地下鉄が市民の安全で安心して移動できる手段として、市民・利用者の皆さまから信頼をいただけるように、運輸安全マネジメントに関する取り組みや訓練・研修等を通して交通事業者にとって最大の使命である安全の確保に取り組むとともに、災害に備えた駅改造や設備の整備、職員の意識改革による接客サービスの向上、事故防止やマナー啓発に取り組んでいます。

安全の確保のために

1 運輸安全マネジメントの推進

平成17年には、4月25日に発生したJR西日本福知山線での脱線事故をはじめ、運輸業界でさまざまな事故やトラブルが起きました。そうした事態を受けて、平成18年10月1日に鉄道事業法、道路運送法などの法律が一括で改正され、各運輸事業者は安全管理体制の構築と、運輸安全マネジメント制度を導入することが求められました。名古屋市交通局においても安全管理体制を構築し、経営トップから現場までが一丸となり輸送の安全の確保・向上に取り組んでいます。

運輸安全マネジメント制度に基づく主な取り組みとして、具体的に以下のような取り組みを進めています。

①安全方針の策定

交通局の輸送の安全に対する理念として、平成19年4月に最初の安全方針を定め、以降、毎年見直しを行い現在に至っています。

②輸送の安全に関する目標の設定

市バス事業、地下鉄事業それぞれ、年度ごとに輸送の安全に関する目標を定めています。

令和5年度の目標は次のとおりです。

<市バス事業>

有責事故件数及び車両故障件数を削減する	
重点事項	・ 重傷事故を過去5年間の最少件数より削減する（3件以下）（歩行者、自転車にかかる重傷事故は撲滅） ・ 車内事故を過去5年間の最少件数より削減する（101件以下） ・ 作業ミスによる故障を撲滅する ・ 車齢10年以上の車両における通常故障を10%以上削減する

<地下鉄事業>

当局の責任によって生じる運転事故・営業事故・輸送障害をゼロにする

なお、年度ごとの目標に対する実施状況につきましては、毎年、安全報告書を作成し公表しています。

③安全重点施策の策定

輸送の安全に関する目標を達成するため5項目の安全重点施策を定めています。

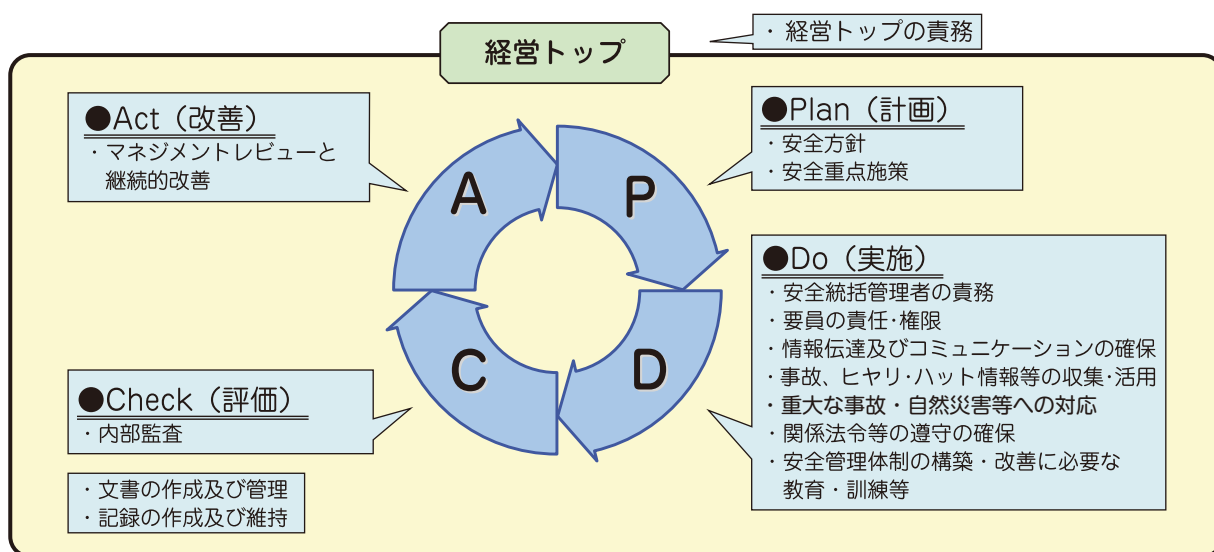
④内部監査の実施

交通局が進めている安全性向上の取り組みが、法令や局内の取り決めに適合しているか、効果的に実施されているかなどについてチェックするため、局職員を監査員として内部監査を毎年実施しています。

⑤運輸安全マネジメント評価

国土交通省の調査官により「運輸安全マネジメント評価」が実施され、交通局の取り組みに対する評価や助言を受けています。

以上のような取り組みを、マネジメントの基本であるPDCAサイクル（Plan-Do-Check-Act）に基づいて進めています。



2 安全最優先の取り組み

①人材の確保

■職員の採用

交通局では、将来を担う人材を確保するために、交通局の職員として働く市バス運転士や地下鉄駅務員、技術員の採用を行っています。

また、採用後は養成研修を行い、必要な知識・技能を習得したうえで現場へ配属しています。

■名古屋市交通局採用サイトによるPR

交通局で働きたいと思っている方に、交通局の魅力、採用募集情報などを分かりやすく提供するため、市バス運転士や地下鉄駅務員、技術員の採用選考等に係る情報に特化した名古屋市交通局採用サイトを令和3年3月に開設し、公開しています。

URL

<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/recruit/>



トップページ

採用サイトの主なコンテンツ

- ・職種紹介 : 交通局のさまざまな職種の紹介
- ・職員インタビュー : 実際に各現場で働く職員からのメッセージや職場の魅力紹介
- ・勤務条件 : 勤務時間や休暇等の勤務条件
- ・キャリアプラン : 入局時からのキャリアの流れ
- ・人材育成 : 入局以降行われる、さまざまな研修の紹介
- ・採用情報 : 説明会情報や募集要項、試験問題の例題など

■大型第二種免許未取得者を対象とした市バス運転士の募集

全国的に大型第二種免許の所有者数が減少していることを受け、新たな人材を発掘することを目的として、大型第二種免許未取得者を対象とした市バス運転士の募集を令和2年度から行っています。

第二次選考合格後から第三次選考までの間に、大型第二種免許を各自で取得し、その後、第三次選考に合格して採用された方に、大型第二種免許取得費用を助成します。また、採用後は、免許所有者を対象とした採用選考を経た採用者よりも多くの実技研修を行うなど、運転技術・知識を確実に習得できるよう対応しています。



募集告知ポスター

②職員の管理・育成

■厳正な点呼

市バス営業所や地下鉄の駅務区、運転区では乗務員、駅務員等に対して点呼を行い、業務内容の確認や注意事項の伝達などを行うとともに、アルコール検知器によるチェックを実施し、飲酒運転を絶対にさせないよう取り組んでいます。



アルコール検知器によるチェック



点呼

■基本動作の徹底実施

市バスの運転士や、地下鉄の駅務員、乗務員等の基本動作を徹底するため、年間を通して本庁職制や現場職制が現場巡視や添乗指導を行っています。

市バスにおいては、着座確認、扉操作、案内放送等、また地下鉄においては、指差確認称呼、案内放送等の実施を確認し、適宜指導を行っています。

■安全意識向上の取り組み

市バス事業では、全乗務員の運転記録証明書を取得し、私行上も含めた交通事故、違反歴を把握するとともに、点呼で免許証の失効等が無いことを確認し、各乗務員の法令遵守と安全意識の高揚に取り組んでいます。

地下鉄事業では、年間の計画、月ごとの重点事項を定め、駅務員や車掌がマナー啓発放送を実施するなど、お客さまへの積極的な働き掛けを通して自らの安全意識を高めるよう取り組んでいます。

■コミュニケーションの活性化

交通局長等幹部職員が現場に出向き、現場の職員との相互の理解を深め、安全意識の向上を図ることを目的に意見交換会を実施しています。

交通局では、このような取り組みを通して現場での業務の状況や課題の把握に努め、局全体の安全への取り組みの改善に役立てています。



意見交換会

■幹部職員による現場巡視

年間を通して幹部職員が市バス、地下鉄の各現場を巡視し、業務の状況や訓練の査察、職員への訓示を行うなど、現場職員の安全意識高揚を図っています。



現場巡視

■非常時対応訓練の実施

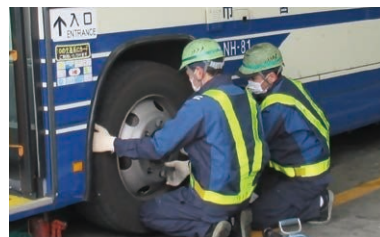
地震や豪雨等の自然災害、事故、テロ事件の発生時など、緊急の事態に的確で迅速な対応ができるよう、年間計画を定めて訓練を実施しています。

<市バス>

集中豪雨を想定した水防訓練では、市バス全車両へ無線を使用した一斉通報による情報伝達訓練などを実施しています。

また、大規模地震を想定した防災訓練では、運行中の市バス車両と営業所間における情報伝達や津波避難ビルへの避難誘導訓練などを実施しています。

さらに、年末年始安全総点検期間において、事故・バスジャック等による緊急時を想定した避難誘導訓練やタイヤ交換など、実践的な訓練も行っています。



バス車両タイヤ交換訓練



避難誘導訓練

<地下鉄>

集中豪雨を想定した水防訓練では、情報の伝達、避難誘導、駅出入口の止水板立ち上げ、防潮扉の閉鎖などの訓練を実施しています。

また、大規模地震を想定した防災訓練では、情報伝達や避難誘導訓練のほか、早期地震警報システムによる列車停止訓練を実施しています。

さらに、地下鉄車内及び駅構内における傷害事件、爆破予告といった様々な非常時においても的確で迅速な対応をするために警察署・消防署と連携した防犯訓練や事故復旧総合訓練、軌道内転落者救出及び救命救急（AED 取り扱い）訓練など実践的な訓練も行っています。



水防訓練



防犯訓練



防犯訓練



事故復旧総合訓練

■輸送の安全に関する研修等

交通局では、輸送の安全に携わる職員として必要な能力の取得と技能を維持するための教育・訓練・研修を計画的に実施し、必要に応じて見直し・改善を行っています。

<市バス・地下鉄・技術 共通>

過去の事故・災害・不祥事等、一つひとつの事例から、定められているルール・手順の重要性を再認識し、高い安全意識を身に付けるため、安全学習室を活用して、様々な職員教育を実施しています。

<市バス>

外部の訓練コースにおけるスラローム走行などの走行体験により、事故防止及び安全意識の向上に取り組んでいます。

また、加速度計により車両の前後・左右の動揺を常にモニターするシステム、ドライブレコーダー、燃料消費計、視点計測装置などの機器を活用して、より安全な市バスの運行ができるよう様々な実践的研修を実施しています。



アイマークレコーダー

<地下鉄>

駅務員、車掌、運転士、助役の各職種が合同で、非常時の取扱訓練、必須知識の再確認、事故防止教育などを行い職種間の連携強化と職員個々の資質向上を図るなど、地下鉄の安全運行を支えるための多様な研修を実施しています。

また、事故・災害時も冷静・的確に判断・行動し、お客さまの安全を確保できる対応力の向上を図るため、地下鉄運転シミュレータや可動式ホーム柵等の機器を活用して、様々な状況を想定した体験型研修を実施しています。



地下鉄運転シミュレータを活用した体験型研修

<技術>

危険性の情報を共有し、事故等の発生を未然に防ぐことを目的としたKYT（危険予知訓練）研修を実施しているほか、機器や保守技術に関する専門的な知識・技術の向上を図るなど、市バス・地下鉄の安全運行を支えるための様々な研修を実施しています。



技術研修

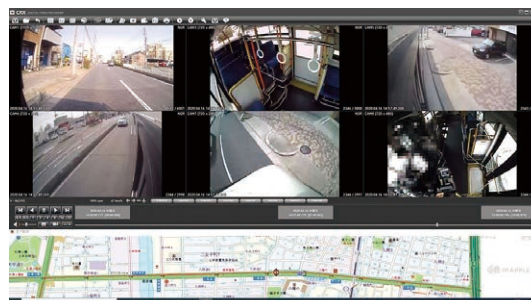
③安全を確保するための設備

<市バス>

■ドライブレコーダー

市バスでは、走行中の車内・車外の映像やエンジン回転数等が記録できるデジタルタコグラフ付ドライブレコーダーを市バス全車両に導入し、事故防止やエコドライブに活用しています。

今後も、映像や運行状況の記録を安全教育に活用することで、お客さまに安心・快適にご乗車していただけるよう努めてまいります。



ドライブレコーダーの解析画面の画像

■運行支援システム

安全かつ適正に市バスを運行するため、画像や音声により運転士をサポートする「運行支援システム」を市バス全車両に導入しています。

運行経路上の間違いやすい場所などで、正しい進行方向などを知らせる「進路指示機能」や、バス停で所定の発車時刻より早く発車しようとしたときに注意喚起する「遅早発防止機能」などを備えています。



運行支援システム

■バス車両の整備

市バスの安全・確実な運行には、車両の保守が必要不可欠です。

定期点検整備や故障の迅速な修理などは、各営業所に併設された整備部門で行っています。

また、年1回の車検整備は、中川営業所など車検整備事業場で行っています。



整備部門におけるバス車両整備

■積雪時の安全対策

積雪時の安全対策として、市バス全車にスタッドレスタイヤもしくはチェーンを装備しています。

■市バスの緊急停止ボタンについて

令和元年度より、ドライバー異常時対応システムを装備したバス車両を導入しています。運転士に異常が発生した際に、運転席後方に設置している非常ブレーキボタンを押すことで、バス車両を停止させることができます。



緊急停止ボタン

<地下鉄>

■ATC（自動列車制御装置）

この装置は、全線に設置しており先行列車との間隔や線路のカーブ等によって決められた運行速度を超えると、自動的にブレーキをかけて減速又は停止させ、列車の速度を制御することにより、運行の安全を確保するものです。



ATC（自動列車制御装置）

■ ATO（自動列車運転装置）

この装置は、東山線、名城線・名港線、桜通線に設置しており運転士が出発ボタンを押すことにより自動的に列車を出発させ、ATC信号の制限速度内で路線に最適な走行パターンにより、出発から加速、減速から停止までの自動制御を行い、次駅まで安全かつ正確に運行するものです。



ATO（自動列車運転装置）

■ 可動式ホーム柵

お客さまをホームからの転落や列車との接触から守るための設備で、列車の扉と連動してホーム柵の扉が開閉します。現在、東山線、桜通線、上飯田線及び名城線・名港線の全79駅に設置しています。

鶴舞線においては、令和8年9月開催の第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)までに完成する目標で、整備を進めています。



可動式ホーム柵

■ 駅構内カメラ

駅構内にはお客さまの安全・安心のため、カメラを設置しています。

ホームをカメラで撮影した映像にて列車の扉開閉操作時のお客さまの安全確認を行っています。



車掌用モニター ホーム前方モニター

■ 車内カメラ

車内での犯罪行為等の未然防止及び事後確認等、セキュリティの向上を図り、お客さまが安心してご利用いただけるよう、令和2年度より順次、車内カメラを設置しています。



車内カメラ

■ 電車緊急停止ボタン

駅ホームの線路内で異常が発生したときに、ボタンを押すことにより、駅に進入する電車及び駅を発車する電車を自動的に停止させます。



電車緊急停止ボタン

■ 車内非常通報装置

各車両の扉付近に設置しており、非常の場合、ボタンを押すことにより、車掌または運転士への通報あるいは通話ができます。

ワンマン運転を行っている東山線、名城線・名港線、桜通線及び上飯田線では、運転士が直ちに応答できない場合、列車の運行状況を監視している運転指令員が応答します。



車内非常通報装置

■ 運転指令室

地下鉄がダイヤに基づき、安全円滑に運行されるよう、各所にいろいろな指令を与える列車運行の中核部門です。

ここには、信号やポイントを遠隔操作し、運行を制御するCTC（列車集中制御装置）や列車の運行が一目でわかる運行表示盤が設置されています。

また、東山線、名城線・名港線、桜通線及び上飯田線には、各駅ホームの映像を監視モニターに映し出す集中映像監視装置を設置しています。

そのほか列車無線、運転指令電話、非常用電話などの通信設備を備え、列車の正常な運行の確保にあたっています。



運転指令室

■ 電気指令室

電気指令室では、係員が24時間体制で各路線に設けられた変電所の状況を常時監視し、必要な操作を遠隔で行います。

また、駅の電気設備や列車の運行に必要な設備の故障時には、保守係員に緊急出動を指示するなど即応体制をとっています。



電気指令室

■ 変電所

変電所では電力会社から受電した交流の電気を、直流の600ボルト（東山線、名城線・名港線）又は1,500ボルト（鶴舞線、桜通線、上飯田線）に変換して電車に供給しています。また、各駅の電気室へ3,300ボルト又は6,600ボルトの電圧に変換して送電しています。

駅の電気室では、さらに200ボルトや400ボルトなどの低圧電気に変換し、照明やエスカレーターなどに供給しています。

変電所には非常用発電機が設置しており、電力会社が停電した場合には、各駅の重要な電気設備へ電力を供給することができます。

■ 車両の保守

検査の種類	検査の内容
全般検査	8年に1回車両全般について行う検査
重要部検査	4年又は60万kmに1回重要な部品を取り外して行う検査
月検査	3ヵ月に1回在姿（部品をつけたまま）で行う検査
列車検査	6日に1回外部から行う検査
臨時検査	車両を購入、改造する時など必要な時に行う検査



電車車庫での整備

■ 軌道の保守

軌道保守作業は、安全輸送及び乗り心地の良さを維持するため欠くことのできない重要な作業で、昼夜を問わず行います。

営業時間中は、列車の合い間をぬって線路を巡視し、軌道の異常の有無等を点検、確認します。

また、営業終了後の深夜には、レールやマクラギ等の交換、軌道のズレの修正及びトンネルの補修等を行います。



軌道保守（砕石道床つき固め作業）

災害に備えて

<市バス>

■市バス営業所への発電機等の配備

災害等により電力の供給が断たれた場合に、バス営業運転を早期再開できるよう、全営業所に発電機やLED投光器を配備しています。



発電機

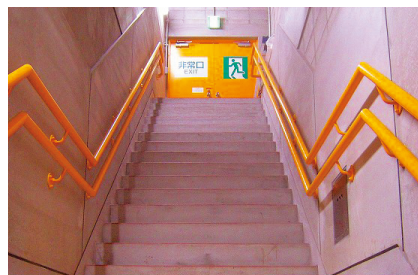
<地下鉄>

■火災対策設備

地下駅やトンネルは、不燃化を図るとともに、自動火災報知設備による警報設備、通信設備や放送設備等の通報設備、排煙設備、異なる2つ以上の避難通路や非常用照明設備、避難口誘導灯等の避難誘導設備、屋内消火栓設備等の消火設備を、国の定めた基準に基づき設置しています。

避難通路として、通常は使わない非常階段を使用する駅では、扉の色を黄色に統一し、「非常口」と大きく表記することで、非常時においても、お客さまが迷うことのないよう配慮しています。

なお、平成15年2月に発生した韓国地下鉄火災事故を契機に改正された国の新しい基準では、さらなる安全性の向上を目指し、駅改造の機会を捉えてホーム階段部の防火防煙シャッターなどの整備を行うこととされており、これについても順次整備を進めています。



非常階段



防火防煙シャッター

■防災管理室

防災管理室は、各駅に設置されており、熱や煙を検知する感知器やモニターテレビなどで常時駅構内を監視し、災害発生時には情報収集、避難誘導、通報連絡、消火活動を迅速かつ的確に行うことができる体制をとっています。



防災管理室

■非常用照明装置

地下駅構内やトンネル内では、停電しても暗闇にならないように照明には特別の配慮をしています。

停電と同時に車内の一部の照明は電車のバッテリー電源で点灯し、最低限の照明を確保します。また、駅構内では非常灯が駅のバッテリー電源で点灯し、最低限の照明を確保します。

さらに、停電が長引く場合は、交通局変電所の非常用発電機を始動させ各駅へ電気を送り、一部の照明を点灯させます。



非常用発電機

■防潮扉・止水板

海に近い名港線の六番町・名古屋港間の5駅全ての出入口には、高潮、津波等による浸水に備えて、鋼鉄製の防潮扉を設置しています。非常の場合にはこれで出入口を閉鎖し、浸水を防止します。

また、地下鉄駅構内への浸水対策として地上駅を除く83駅（エレベーター前のみ設置駅含む）の出入口に止水板を設置しています。



防潮扉



止水板

■防水扉

庄内川の真下を横断する鶴舞線の庄内緑地公園・庄内通間には、鋼鉄製の防水扉を4つ設置しています。

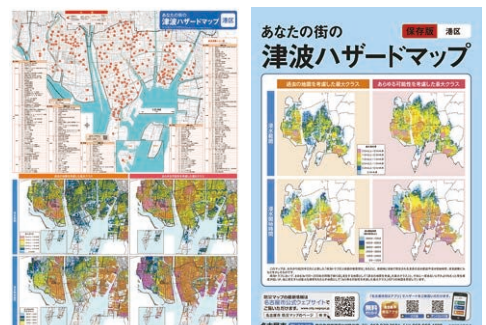
これは、万一、川の水がトンネル内に流入したとき、浸水による災害の拡大防止を図るための扉です。センサーで流入をキャッチすると、運転指令室からの遠隔操作で扉を閉じて安全を確保します。



防水扉

■地下鉄施設の津波対策

津波による浸水に備え、平成25年度に公表された津波ハザードマップにおいて、過去の地震を考慮した最大クラスの地震が発生した場合の想定に基づき、地下鉄駅の止水板や換気所の扉などを津波に対応した強度のものに改修しました。



■ 地下鉄構造物の耐震補強

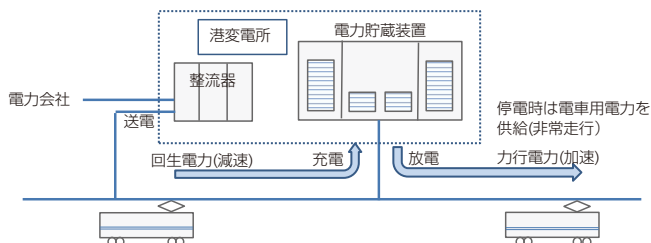
東日本大震災をふまえ、安全性を高め、地震時の早期復旧を図ることができるよう、耐震性能をさらに高めることが必要な柱等について、補強を進めています。



耐震補強を施した橋脚

■ 変電所電力貯蔵装置

巨大地震により大規模停電が発生した場合、地下鉄の電車がトンネル内の駅間に停止する可能性があります。津波が到達する前にお客さまが安全な場所に早く避難できるよう、最寄りの駅までの非常走行を可能とする電力貯蔵装置を名港線 港変電所に設置しています。



■ 手すり付き非常はしごの設置

地震などによる停電時に地下鉄車両から降車して避難する際、迅速かつ円滑に避難することができるように、全線の地下鉄車両に手すり付き非常脱出はしごを設置しています。

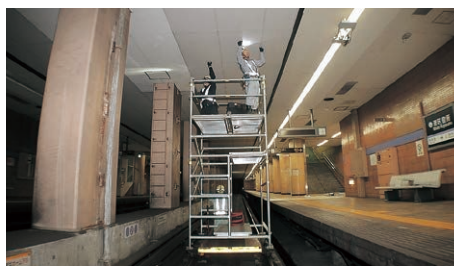
また、駅においても非常時に軌道からホームへ上がるための手すり付き非常用はしごを配備しています。



手すり付き非常脱出はしご

■ 駅軌道内の点検

駅軌道内の壁タイルおよび天井添架物の落下を予防するため、目視および打音調査、触診による点検を実施しています。



駅軌道内の点検（触診点検）

■ デジタルサイネージでの緊急案内放送

名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画（エリア防災計画）及び金山駅周辺地区エリア防災計画において、大規模災害時における帰宅困難者対策の一環として、駅コンコース階に設置されているデジタルサイネージを活用した避難誘導及び情報伝達を実施します。



接客サービスの向上

職員一人ひとりがお客さまサービスの担い手であるという意識を高め、接客サービスのプロとして、職務に必要な能力を向上させ、成長していけるような取り組みを行っています。

1 接客サービス向上のための取り組み

■ “ありがとう” 宣言（平成20年3月制定）

お客さまから「ありがとう」の言葉がいただけるよう、「接客サービス向上」のためのアクションを定め、接客サービスの向上に取り組んでいます。

〈アクション〉

- 1 あいさつをしっかりします
- 2 身だしなみを整え、第一印象を大切にします
- 3 お客さまに“ありがとう”を伝えるため、笑顔で対応します
- 4 お客さまにはっきりした声で対応・アナウンスします
- 5 所属・名前を名乗り、責任を持った対応・運行をします

■ サービス介助士

サービス介助士は、高齢者や障がいのあるお客さまを介助する技術を身に付けるとともに、おもてなしの心で心のバリアフリーを身に付けることを目指した資格です。

平成21年度から、市バス全営業所及び地下鉄全駅でサービス介助士の資格を有する職員が常時1名以上勤務する体制を取っています。

■ 認知症サポーターの養成

認知症サポーターは、認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守る「応援者」です。市バス営業所・地下鉄駅等の運輸職員が、認知症について正しい知識を持ち、適切な対応ができるようになるため、認知症サポーターを養成しています。

■ バリアフリー研修

高齢者や障がいのあるお客さまが、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるように、実際に障がいのある方を講師に招き、講義や疑似体験を行うことで理解を深め、様々な職務において、お客さまの視点に立った施策を推進できるように研修を行っています。



バリアフリー研修（疑似体験）

■ 接客サービス研修

新規に採用されたバス運転士・駅務員を対象に、感じの良いあいさつや姿勢・表情・言葉づかい等の基本的知識及びスキルを習得させ、よりよい接客サービスを実践できるようにする研修を行っています。

■ アナウンス研修

電車車掌養成時や新規に採用されたバス運転士・駅務員を対象に、「お客さまに伝える力」を向上させ、その場に応じた最適な案内放送ができるように、発声や言葉遣いなどアナウンスの基本を習得する研修を行っています。



アナウンス研修

2 各種コンクール

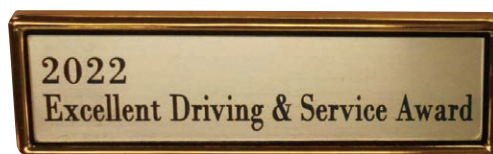
各部門の技術向上を目的に、年に1回各種コンクールを実施しています。

■運転・接客技能コンクール<市バス>

各営業所から選出された運転士が、安全確認・車両感覚といった運転技能と、質問対応・案内放送といった接客技能を競います。優秀な成績を収めた上位4名は金色のバッジを、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。



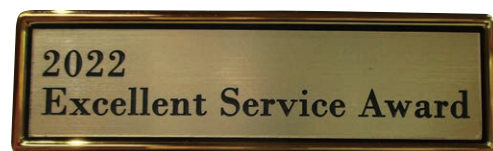
運転・接客技能コンクール(市バス)



■接客コンクール <地下鉄>

各駅務区から選出された駅務員が、お客さまから「ありがとう」の言葉がいただける接客サービスを目指して接客技能を競います。

優秀な成績を収めた上位3名は金色のバッジ、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。



接客コンクール(地下鉄)

■運転技能競技会 <地下鉄>

各運転区から選出された運転士と車掌が技能を競い地下鉄乗務員の技能及び職務に関する知識を向上させてお客さまの安全・安心を守ります。

優秀な成績を収めた上位2名は金色のバッジ、その他の出場者は銀色のバッジを業務中に着用しています。

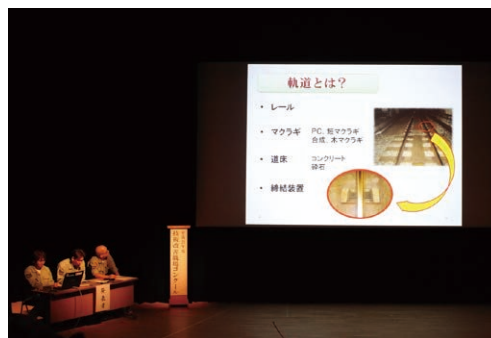


運転技能競技会

■技術職場改善コンクール <技術>

技術職場における安全で快適な輸送サービスの提供に必要な改善を図ることを目的に、毎年開催しています。

技術職場（公所）から選出された代表チームが、日ごろ従事している業務に関して、効率性・安全性等の向上に資するための改善事例を順次発表し、成績優秀な職場には表彰を行っています。



技術職場改善コンクールの発表風景

3 職員の参画意識の向上

日常の業務に根ざした職員からの提案や意見を事業運営や利用促進などに反映し、職員の参画意識の向上に取り組んでいます。

■ハッチーカップ（交通局における業務改善活動）

すべての職場を対象に、業務改善活動を推進するため、各職場における自主的な業務改善の取組事例を発表する「ハッチーカップ」を行っています。

優秀な事例については表彰を行うとともに、市全体での業務改善の優秀事例を発表する大会である「なごやカップ」に交通局代表として推薦しています。

また、発表された業務改善活動を他の職場でも活用する活動にも取り組んでいます。

■職員提案制度

収入増加やお客さまに対するサービス向上など交通局の業務改善に関する提案を職員から募集し、優秀な提案については表彰等を行うとともに、施策として実施しています。

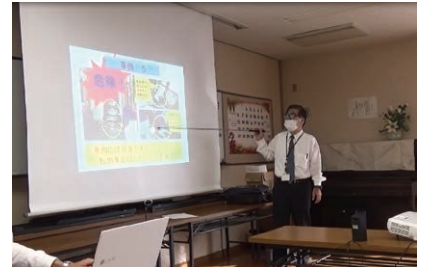
事故防止・マナー啓発

お客さまに安全・安心・快適にご乗車いただくために様々な機会をとらえて、事故防止やマナー向上のための取組みを行っています。

■ 事故防止教室

市バスを安全に利用していただくため、社会福祉協議会主催の「高齢者はつらつ長寿推進事業」に参加されている方を対象に、車内事故の実態や原因、気を付けていただくことなどを内容とした「事故防止教室」を、各区において開催しています。

令和4年度は各区1回（計16回）開催し、約250名の方にご参加いただきました。



■ エスカレーターマナー啓発運動

転落・衝突防止のため、エスカレーターを歩いたりせず、手すりにつかまり、2列にのらんで間隔を空けてご利用いただくよう、視覚に訴える掲示物の掲示、職員によるお客さまへの安全な利用方法など直接的な呼びかけを行っています。

また、改札窓口、ホーム及び車内での案内放送により、積極的な啓発に取り組んでいます。



■ 「転落・接触事故防止」の取組み

線路内への転落事故や列車との接触事故を防止するため、歩きながらの携帯電話・スマートフォンのご使用をやめていただくよう、改札窓口・車内・ホームでの案内放送、旅客案内表示により啓発するとともに、ホーム柵からの身の乗りだしや寄りかかりなどの注意喚起にも努めています。



■ 視覚障害者に対する転落事故防止の取組み

可動式ホーム柵の整備や内方線付き点状ブロックの整備を進めています。

また、駅員による視覚障害者への積極的な声掛け・お手伝い及びお客さまへは視覚障害者が線路に近づくのを見かけたときは声かけをしていただくよう呼びかけています。

■ 乗車マナー向上に関する啓発活動

地下鉄車内の乗車マナー向上を図るため、車内案内放送での呼びかけに加え、マナーポスターを車内等に掲出し、視覚的な啓発にも取り組んでいます。



■乗車券サービスの考え方

市バス・地下鉄の料金について、市バスは均一制、地下鉄は1区から5区までの対キロ区間制料金としています。日常の移動手段として、市民・利用者が便利にご利用いただけるよう乗車券サービスの向上に努めています。

乗車券サービスが充実している名古屋市営バス・地下鉄では、お客さま1人あたりの料金が、市バスは平均132円で、名古屋、東京、横浜、京都、神戸の主要5都市の公営バス事業者の中で1番安く、地下鉄は平均154円で、全8都市の公営地下鉄事業者の中で、東京に次いで2番目に安くなっています(※)。

※令和3年度決算

■市バスの基本料金

大人210円、小児100円(均一制)
(なお、深夜バスは大人420円、小児200円)

■地下鉄の基本料金

区分	1区 (3キロまで)	2区 (7キロまで)	3区 (11キロまで)	4区 (15キロまで)	5区 (15キロを超えるもの)
大人	210円	240円	270円	310円	340円
小児	100円	120円	130円	150円	170円

■保護者と同伴される幼児の料金について

保護者1人につき幼児4人まで無料です。5人目からや、幼児のみの場合は小児料金となります。

※大人及び小児の区分のお客さまを保護者とします。また、幼児とは1歳以上小学校入学前までの方です。

●定期券の種類と料金

バス定期券は全て全線定期券であり、地下鉄定期券は、通勤・学生とも用途に合わせてご希望の区間・経路で購入できます。

〈市バス(全線)〉

区 分	料 金		
	1か月	3か月	6か月
通勤定期券(持参人方式)	9,320円	26,570円	50,330円
学生定期券甲(中学生以上)	5,400円	15,390円	29,160円
学生定期券乙(小学生以下)	3,600円	10,260円	19,440円
特 得 60 バ ス 定 期 平日昼間・土日休日専用	—	10,370円	—

〈バス・地下鉄全線定期券〉

区 分	料 金	
	1か月	3か月
バス・地下鉄全線定期券 (通勤) (持参人方式)	18,970円	54,080円
バス・地下鉄全線定期券 (学生)(中学生以上)	10,370円	29,560円
	6か月	56,010円

〈地下鉄〉

区 分		料 金				
		1区	2区	3区	4区	5区
通勤定期券	1か月	8,540円	9,540円	10,470円	11,300円	12,060円
	3か月	24,340円	27,190円	29,840円	32,210円	34,380円
	6か月	46,120円	51,520円	56,540円	61,020円	65,130円
全線定期券	1か月	15,270円				
	3か月	43,520円				
	6か月	82,460円				
学生定期券甲 (大学生)	1か月	5,030円	5,500円	5,880円	6,200円	6,440円
	3か月	14,340円	15,680円	16,760円	17,670円	18,360円
	6か月	27,170円	29,700円	31,760円	33,480円	34,780円
学生定期券甲2 (高校生・中学生)	1か月	4,440円	4,830円	5,140円	5,370円	5,530円
	3か月	12,660円	13,770円	14,650円	15,310円	15,770円
	6か月	23,980円	26,090円	27,760円	29,000円	29,870円
学生定期券乙 (小学生以下)	1か月	2,400円	2,630円	2,810円	2,960円	3,080円
	3か月	6,840円	7,490円	8,010円	8,440円	8,770円
	6か月	12,960円	14,180円	15,180円	15,990円	16,610円

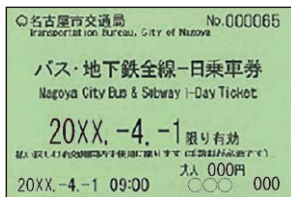
〈バス・地下鉄割引連絡定期券〉

バス・地下鉄割引連絡定期券では、市バス・地下鉄それぞれの料金を20%割り引いて設定しています。

■一日乗車券・24時間券

区 分		発売額	備 考
バス・地下鉄共通	バス・地下鉄全線一日乗車券	大人870円、小児430円	
	ドニチエコきっぷ	大人620円、小児310円	土・日・休日及び毎月8日（環境保全の日）
バス専用	バス全線一日乗車券	大人620円、小児310円	
地下鉄専用	地下鉄全線24時間券	大人760円、小児380円	使用を開始した時から24時間（翌日の同時刻まで）地下鉄全線乗り放題です。

●自動券売機で発売（マナカのSF(現金)で購入できます）



バス・地下鉄全線一日乗車券



ドニチエコきっぷ



地下鉄全線24時間券

●駅長室等で発売(改札窓口では、マナカのSF(現金)で購入できます。)



バス・地下鉄全線一日乗車券



ドニチエコきっぷ



バス全線一日乗車券

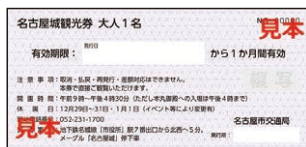


地下鉄全線24時間券

■名古屋市観光周遊セット券

GoToトラベル事業「地域共通クーポン」のご利用等で、「名古屋市観光周遊バス・地下鉄全線一日乗車券」と割引価格で観光施設に入場できる「観光施設入場券」をセットにした「名古屋市観光周遊セット券」を発売しました。

(令和5年3月31日をもって発売終了)

名古屋市観光周遊
バス・地下鉄全線一日乗車券

観光施設入場券

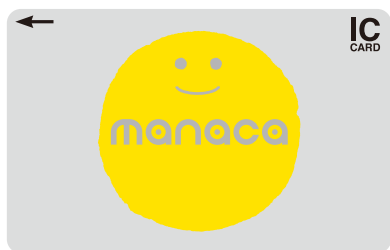
■記念乗車券

大規模イベント等の機会をとらえて、特別なデザインの乗車券を発売しています。

※令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部発売を見送りました。

ジブリパーク開園
ドニチエコきっぷ

マナカは乗車券と電子マネーが1枚になったカードです



manaca

(マナカ)

「日本の真ん中をつなぎ、くらしの真ん中をつなぐICカード」

■マナカの種類

	種 類	特 徴
記名式マナカ		○カードに記名された本人が使用 ○氏名、性別、生年月日、電話番号の登録が必要 ○紛失しても再発行OK。SFも引き継ぐから安心 ○マナカ定期券への変更OK
無記名式マナカ		○誰でも使用OK ○紛失時の再発行はできません ○記名式マナカ・マナカ定期券への変更OK
マナカ定期券		○カードに記名された本人が使用。ただし、持参人方式の定期券は誰でも使用OK ○氏名、性別、生年月日、電話番号の登録が必要 ○紛失しても再発行OK。SFも引き継ぐから安心 ○チャージ（入金）しておけば定期券区間を乗り越してもSFで自動精算

※記名式マナカとマナカ定期券には、小児用と割引用があります。

- ・小児用マナカ ○自動的に小児料金が適用されます。
○記名人ひとりにつき1枚発行されます。
- ・割引用マナカ ○自動的に割引料金（大人）が適用されます。
○介護が必要なお客さまには、介護者用の割引用マナカを発行します。

■マナカの購入方法

- ・発売金額は、1,000円、2,000円、3,000円、5,000円、10,000円の5種類です。
（発売金額にはデポジット（預かり金）500円を含みます。利用可能額は、発売金額から500円を差し引いた額です。）
- ・発売場所は、地下鉄駅（自動券売機、改札窓口、駅長室及び交通局サービスセンター（定期券うりば））、市バス車内及び市バス営業所※です。
※市バス車内・市バス営業所は、発売金額2,000 円の無記名式マナカのみ

■クレジットカード対応券売機

クレジットカードで定期券を購入できる時間帯・場所を拡大するため、令和4年2月15日より、名古屋、栄、金山駅に、クレジットカードでも定期券を購入できるピンク色の券売機を設置し、一年中、始発から終発まで発売しています。



■manaの特徴

◆名古屋も全国も1枚で！

市バス・地下鉄をはじめ、あおなみ線、ゆとりーとライン、名鉄電車、名鉄バス、豊橋鉄道、リニモでも使えます。

manaをはじめ全国の10の交通系ICカードがマークのある全国の鉄道・バスで使えます。

◆敬老バス・福祉特別乗車券も！

敬老バス・福祉特別乗車券もmanaで発行されます。

◆manaだけのサービス！

○manaマイレージポイント

ポイントがたまる

- ・1枚のmanaで1か月間（毎月1日～末日）に市バス・地下鉄を2,000円以上（小児用・割引用は1,000円以上）利用すると、SF（現金）の合計利用金額に応じて基本ポイントがたまります。
- ・平日昼間（10時から16時まで）に利用すると、基本ポイントに上乗せしてとてもお得な平日昼間ボーナスポイントがたまります。

【基本ポイント】

区分	1か月間の利用金額		ポイント率
	大人用mana	小児用・割引用mana	
市バス 地下鉄	2,000円以上5,000円未満	1,000円以上2,500円未満	1%
	5,000円以上10,000円未満	2,500円以上5,000円未満	2%
	10,000円以上15,000円未満	5,000円以上7,500円未満	3%
	15,000円以上	7,500円以上	4%

【平日昼間ボーナスポイント（平日10～16時利用分・基本ポイントに上乗せ）】

区分	1か月間の利用金額		ポイント率
	大人用mana	小児用・割引用mana	
市バス	2,000円以上	1,000円以上	30%
地下鉄	2,000円以上	1,000円以上	20%

※基本ポイント・平日昼間ボーナスポイントともに合計利用金額の1,000円（小児用及び割引用は500円）未満の金額は切り捨てられます。

ポイントを使う

- ・ポイントを利用するには、センターシステムに記録されたポイント（センターポイント）を、お持ちのmanaに移しかえること（これを「ポイント還元」といいます。）が必要です。
- ・ポイント還元するには、駅の自動券売機・チャージ機・自動精算機でポイント「還元」ボタンを押して、お持ちのmanaに移しかえてください。ポイントは還元せずに1年間経過すると失効しますので、ご注意ください。
- ・還元したポイントは、市バス・地下鉄などの乗車料金のみに使えます。（電子マネーとしての利用はできません。）
- ・還元したポイントには利用期限はありません。

○乗継割引

市バスと市バス、市バスと地下鉄などを90分以内に乗り継ぐと、大人80円（小児40円）割引になります。

◆電子マネーでお財布代わり！

manaにチャージ（入金）したSF（現金）は、電子マネーとしてマークのあるお店、自動販売機、コインロッカー、自転車駐車場等でご利用いただけます。

・お店での使い方

「manaで支払い」と店員に伝え、読取部にmanaをタッチします。「ピピッ」と音が鳴ったら支払い完了です。

・自動販売機での使い方

商品ボタンを押し、読取部にmanaをタッチします。「ピピッ」と音が鳴ったら支払い完了です。

◆環境にやさしい！

チャージ(入金)して、また定期券を書き換えて、くりかえし使えます。

- ・ マナカは、チャージ(入金)してくりかえし利用できます。
- ・ チャージ(入金)は、1,000円単位で最大20,000円まで行うことができます。
- ・ 地下鉄駅の自動券売機やチャージ機・自動精算機、改札窓口、駅長室、市バス車内及び交通局サービスセンター(定期券うりば)並びにコンビニエンスストア等でもチャージ(入金)できます。また、あおなみ線・名鉄電車・豊橋鉄道・リニモの駅、ゆとりーとライン・名鉄バスの車内のほか、 マークのある全国の鉄道・バス等でもチャージ(入金)できます。

■■■マナカチャージ券(名古屋市交通局ギフトカード)によるチャージ(入金)■■■

- ・ マナカチャージ券とマナカを地下鉄駅(上小田井・上飯田を除く)の改札窓口もしくは駅長室または交通局サービスセンター(定期券うりば)にお持ちください。
- ※ マナカチャージ券ではマナカを購入できません。
- ※ マナカ以外の他社カードへのチャージ(入金)はできません。



■■■オートチャージサービス■■■

オートチャージサービスとは、マナカ(株名古屋交通開発機構が発行したものに限る。)を利用して、地下鉄の自動改札機(上小田井、上飯田を除く85駅)にタッチして入場する際、チャージ残額が一定金額以下の場合に、クレジットカードから自動的に指定した金額がチャージされるサービスです。

オートチャージサービスのご利用により、「現金をチャージする手間が省ける」「チャージ残額を気にせず乗車ができる」「マナカ電子マネーでのお買い物もしやすくなる」など、様々なメリットを体感していただけます。



オートチャージサービスのご利用は、クレジットカードと一体となったwellow card マナカを利用する方法とクレジットカードであるwellow cardと記名式マナカ・マナカ定期券をリンクする方法の2通りから選択できます。

wellow card マナカ	wellow card
	
市バス・地下鉄の定期券をのせることができます。	他交通機関の定期券をのせたマナカ、敬老パス、福祉特別乗車券ともリンクできます。

◆安心！

記名式マナカ・マナカ定期券を紛失した場合は、S F (現金・ポイント)や定期券の情報を引き継いで再発行できます。

取扱場所は、地下鉄駅長室及び交通局サービスセンター(定期券うりば)です。

市バスのあらまし



市バスは市民の日常生活を支えるために欠くことのできない交通手段であり、その機動性を活かして、きめ細かなサービスを提供しています。

市域内の新たな道路や施設の整備状況等をふまえたバス路線の整備のほか、利用状況や運行実態をふまえたダイヤ改正などを適宜実施し、定時運行の確保やご利用いただきやすいバスサービスの提供に努めています。また、鉄道網と一体となって需要に応じた効率的な運行サービスを提供するため、鉄道網との連携強化と運行の効率化に取り組んでいます。

令和5年4月現在、市内のほぼ全域において164系統、営業キロ763.4kmで営業を行っており、市内におけるバス路線の約9割を市バスが担っています。

乗車人員は、平成18年度以降、新たな乗客サービスの提供等により増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は約26万人にまで減少しました。令和4年度（見込）は、令和3年度よりも6%増の約30万人／日となりましたが、コロナ禍前の令和元年度と比べると約5万人／日減（14%減）となっています。

バス路線整備の基本的な考え方

現在、交通局では、ご利用いただきやすい市バスをめざし、バス路線の整備については次の考え方を基本として実施しています。

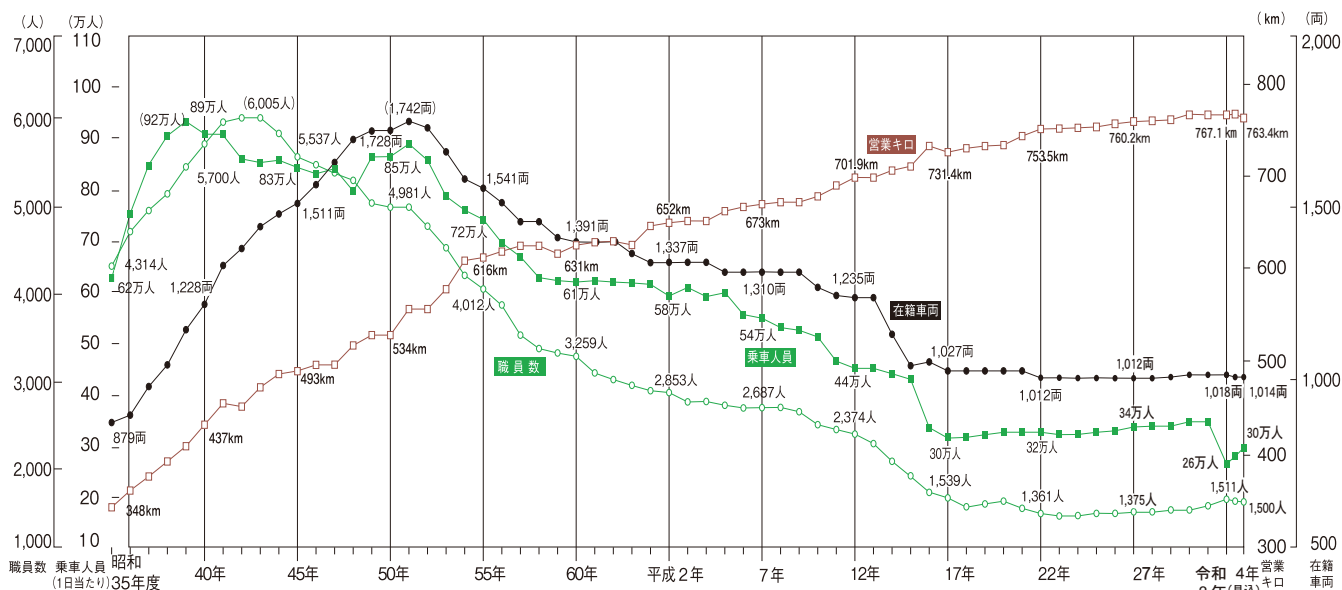
- 500mでバス停に到達できることや、バス路線の間隔を1kmとすることを基準とする。
- バス路線相互や地下鉄等との競合・並行を避け、路線網の集約化、効率化を進める。
- 需要に応じた運行回数を設定するとともに、需要がわずかであっても1時間に1回の運行に努める。

区 分		数 量
営業キロ		763.4km
系統数		164系統
系統長（平均）		7.5km
停留所数		1,471 停留所
停留所間隔（平均）		411 m
車両数		1,014両
1日 当たり	運転キロ数	98千km
	乗車人員	30万人
	運輸収益	39,714千円

（注1）運輸収益は消費税抜きの数値

（注2）1日当たり運転キロ、乗車人員、運輸収益は
令和4年度決算（見込）、その他は令和5年4月現在

市バス事業の推移



(注1) 図中の数値は、各年度の決算値であり、昭和35年度を初年度とした5年ごとの推移を示す。なお、()内の数値は、それぞれの最高値を示す。
(注2) 貸切を含む。

運行のあらまし

多様なバスサービス

市バスの運行にあたっては、お客さまのニーズや利用実態をふまえた、より利便性の高い運行サービスを提供するため、系統別、時間帯別、バス停別の乗車人員、利用区間、お客さまの属性等をきめ細かく調査するとともに、バス停勢圏の人口の集積、集客施設の設置状況等の地域の特性をふまえ、基幹バス、地域巡回バスなど、多様な運行サービスを提供しています。

基幹バス

基幹バス東郊線（基幹1系統）

栄～星崎（鳴尾車庫・笠寺駅）を平日に206回運行しています。

路側走行方式を採用し、丸田町～星崎は平日7～9時の間はバス専用レーンとなっています。



基幹1系統

基幹バス新出来町線（基幹2系統）

栄～引山（四軒家）及び名古屋駅～猪高車庫を、専用車両（50両）により、平日に410回運行しています。

一部区間を除いて中央走行方式を採用し、桜通大津～引山は平日7～9時と17～19時の間は基幹バス専用レーン（その他の曜日・時間帯は優先レーン）となっています。また、共同運行している名鉄バスの乗車方式と同じ、後乗り・前降り方式としています。



基幹2系統

■地域巡回バス

地域の日常生活に密着した施設（区役所・支所や病院などの公共施設、大規模商業施設、地下鉄駅など）を巡回する路線で、一般バスに比べて短い間隔で停留所を設置しており、市内全区で22系統を運行しています。

平成27年4月のダイヤ改正より、地域巡回バス全系統で運行時間帯を拡大し、改正前の9時台～16時台の8往復に加え、8時台または17時台に1往復増便し、9往復の運行としています。



地域巡回バス

■都心ループバス（C-758系統）

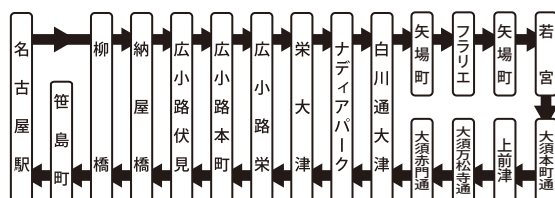
市バスによる都心部の回遊性を高めるため、名古屋駅から栄・矢場町方面を昼間時に10分間隔で巡回していた都心ループバスを、平成29年4月から大須地区に延伸、これにあわせて1日当たりの運行本数を52本から54本へと2本増便しました。

訪日外国人旅行者の方への利便性向上のため、系統名を従来の「栄758」から「C-758」に変更し、新たに「C-758」系統のロゴマークを設定するとともに、停車するバス停留所やバス車両に掲出しています。また、バス車内に液晶式表示装置を1両あたり2台設置し、日本語に加え英語、ハングル、簡体字・繁体字の中国語による案内を行っています。

令和4年7月12日からメーグル1DAYチケットでも乗車できるようになりました。



都心ループバス外観と車内イメージ



C-758系統 路線図



ロゴマーク

定時運行をめざして

■ バスレーン

自動車の増加は交通渋滞を引き起こし、バスの走行環境を悪化させます。走行環境の悪化に伴い、昭和36年に時速約16km台だった市バスの表定速度は、現在では時速約12km台になり、またバス運行の定時性も損なわれがちです。

バスレーンは、特定の車線で時間帯を限ってバス専用または優先とするもので、バスの走行環境の改善にきわめて有効です。

現在では21レーン（74.54km）に及ぶバスレーンが、県公安委員会によって設置されています。

バスレーン設置状況（令和5年4月1日現況）



■ バスレーン監視活動

バスレーンの機能を維持し、バスの円滑な運行を確保するため、バスレーンに監視員を配置して、規制時間中におけるバスレーン内への進入車両の監視やレーン外への誘導等の活動を行っています。



バスレーン監視

■ バス停周辺における違法駐停車監視活動

バスが円滑にバス停に発着し、お客さまが安全に乗降していただけるようにするため、バスターミナルやバス停に監視員を配置して、違法駐停車等の監視や啓発活動を行っています。



違法駐停車監視

人と環境にやさしく

<やさしく>

■ノンステップバス

乗降口に階段がなく、一般のお客さまはもちろん、お年寄りや車いすをご利用の方にも楽に乗降していただけるバス車両です。車いすやベビーカーをご利用のお客さまがそのまま乗車いただけるよう、スロープ板を備えています。

令和5年4月現在、在籍車両1,014両全車ノンステップバスです。

ノンステップバス車両主要諸元

車両区分	定員 (座席)	車両寸法 長×幅×高(m)	在籍車両数 (令和5年4月)
大型	76人 (28席)	10.70×2.49 ×3.09	819両
中型	59人 (24席)	8.99×2.30 ×3.04	195両



ノンステップバスへのご乗車の様子

■優先席

乗降口に近い座席を、お年寄りや妊産婦、身体の不自由な方などの優先席とし、優先席であることを分かりやすくするため、シート生地にピクトグラム（絵文字）を印字した車両の導入を進めています。また、外見からは分からなくても援助が必要な方のため、優先席付近にヘルプマークステッカーを掲出しています。

優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りいただくようご協力をお願いしています。



優先席・優先席ピクトグラム

■車いすスペース

全車両に車いすスペースを設けています。

車いすやベビーカーをご利用のお客さまがご乗車される際は、乗車スペース確保のため、既に乗車スペースの座席をご利用のお客さまに席をお譲りいただくなどのご協力をお願いしています。

また、ベビーカーをご利用のお客さまは、ベビーカーにお子さまを乗せたままご乗車いただけます。
(ただし、混雑時等はベビーカーを折りたたんでいただく場合があります。)



車いすスペース

<わかりやすく>

■バスターミナル

お客さまの利便性向上のため、主な地下鉄駅には、乗り継ぎに便利なバスターミナルを設置しています。

・バスターミナルの環境改善

バスターミナルについては、順次、塗装の塗替えや照明のLED化などを進めています。

また、鳴子北バスターミナルに、ドライ型ミストを設置しています。

地下鉄に接続しているバスターミナル(交通広場含む)

東山線	名城線	鶴舞線
八田	金山	上小田井
中村公園	黒川	植田
本陣	大曽根	原
名古屋	茶屋ヶ坂	平針
栄（オアシス21）	自由ヶ丘	桜通線
千種	新瑞橋	鳴子北
池下	名港線	徳重
星ヶ丘	六番町	上飯田線
一社	名古屋港	上飯田
上社		
本郷		
藤が丘		

*複数の地下鉄路線に接続している場合は1つの路線に記載しています



栄（オアシス21）西側のりば

■タッチパネル式液晶モニター案内板

名古屋駅バスターミナルに、タッチパネル式液晶モニターを備えた案内板を設置し、日本語に加え英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルによる営業案内・観光情報を提供しています。



液晶モニター案内板

■バス停留所の整備

・バス停留所の改修

停留所で市バスをお待ちいただいているお客さまのために、屋根つきのバス停・ベンチ・照明付標識を順次設置しています。

・バス停留所の広告付上屋

一部のバス停留所には、交通局が費用負担することなく、民間企業が広告料収入でバス停留所の製作・設置・維持・管理を行うもので、都会的なデザイン、見やすい大型の時刻表、夜間照明などにより、市バス利用者へのサービス向上を図っています。



バス停留所広告付上屋

■バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大

市バスに不慣れな方にも安心してご利用いただくため、ピクトグラムを活用した乗換案内、4つ先までの停留所名を表示する経由地案内など、わかりやすい案内が行える液晶式停留所名表示器を順次設置しています。



液晶式停留所名表示器

<環境にやさしく>

■アイドリング・ストップバス

ディーゼルバスについては、停車と発進にあわせて、エンジンが自動的に停止・再スタートを行い、無駄なアイドリングをなくします。排気ガスや騒音が減り、燃料の節減にもつながります。

令和5年4月現在、市バス全車両アイドリング・ストップバスです。



アイドリング・ストップバス

■最新の排出ガス規制適合車の導入

更新する全ての車両を最新の排出ガス規制に適合したノンステップバスとしています。

平成29年度より、排出ガスの基準が最も厳しい「2016年規制」に適合したディーゼルバスを導入しており、このバスは排出ガスに含まれる窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）を低減させる装置を備えています。

令和5年4月現在、合計243両の「2016年規制適合バス」が在籍しています。



2016年排出ガス規制適合バス

令和5年4月現在

	導入 開始	内容	導入車両 数(両)
2016年規制 適合バス	平成 29年度	平成28年排出ガス規制(2016年規制)対応のディーゼルバス。	243

■電動バス 燃料電池バス（試行導入）

令和5年4月より、環境局から貸与された燃料電池バス1両を路線バスとして運行しています（試行導入）。水素を燃料として走行時に温室効果ガスや大気汚染物質を排出しない環境にやさしい車両です。鳴尾営業所に在籍し、主に基幹1系統で運用しています。

燃料補給のための水素ステーションへの回送や水素ステーションの定期点検による休業時の対応、車両故障時の対応等について検証を行っています。



■バス停・バスターミナル照明のLED化

環境負荷を低減するため、バス停標識の照明及びバスターミナルの照明を、省エネ効果が高いLEDへ改修を進めています。



地下鉄のあらまし

地下鉄は、高速で定時性を有し、大量輸送が可能な公共交通機関として、昭和32年11月に東山線名古屋・栄町間で営業を開始しました。その後、順次、路線を延長し、現在は6路線93.3kmの路線網により、市内交通の基幹的な役割を果たしています。

平成16年10月6日の名城線名古屋大学・新瑞橋間5.6kmの開業により、1周26.4kmの地下鉄環状線が完成し、全国初の地下鉄の環状運転を行っています。

名城線の環状化により、東山線をはじめとする地下鉄他路線との接続駅も増え、目的地までの所要時間の短縮、利用料金の低減など地下鉄路線網として利便性・効率性がさらに向上しました。

また、平成23年3月27日には、桜通線野並・徳重間が開通し、営業キロが93.3kmとなりました。

1日当たりの乗車人員については、市バス同様、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により約95万人まで減少しました。令和4年度（見込）は令和3年度と比べて10%増の1日当たり約115万人（見込）となりましたが、コロナ禍前の令和元年度と比べると約18万人／日減（14%減）となっています。



区 分		数 量
営業キロ		93.3km
路線数		6路線
駅数		87駅
駅間隔（平均）		0.982km
車両数		782両
1日 当たり	運転キロ数	186km
	乗車人員	115万人
	運輸収益	179,400千円

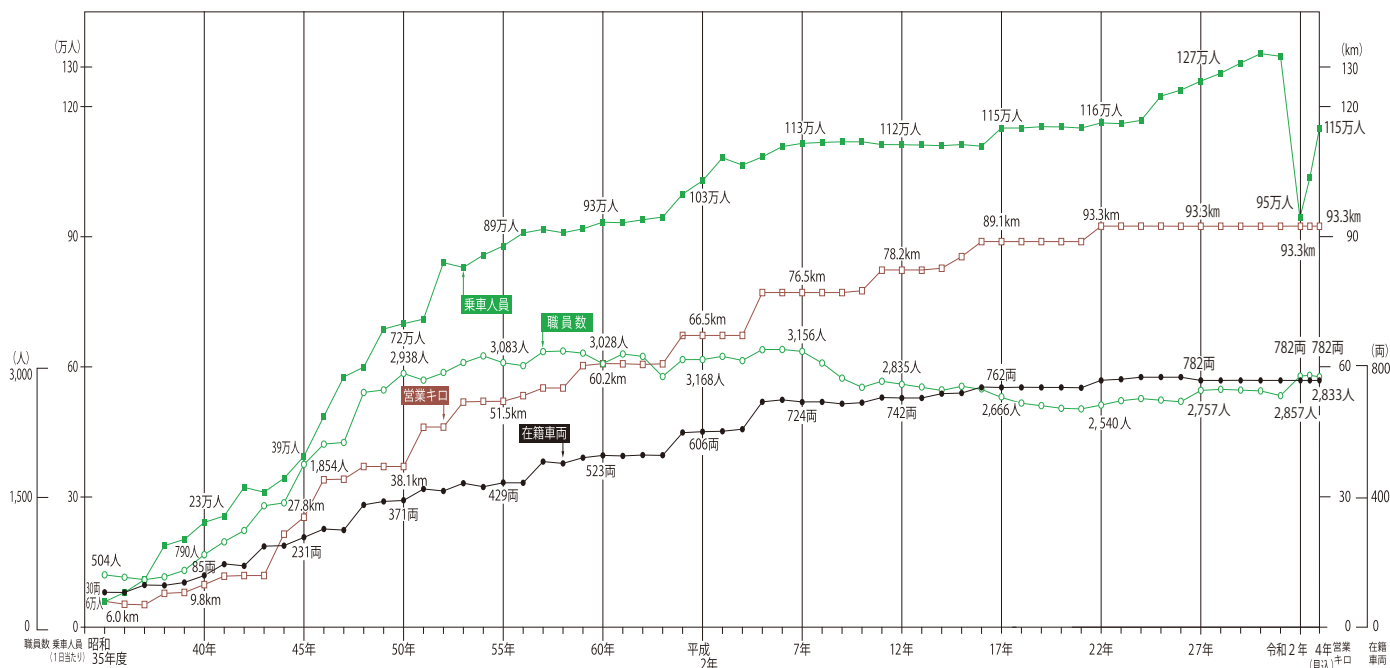
（注1）運輸収益は消費税抜きの数値

（注2）1日当たり運転キロ数、乗車人員、運輸収益は令和4年度決算（見込）、その他は令和5年4月現在

■名古屋近郊路線図



■地下鉄事業の推移



(注1) 図中の数値は、各年度の決算値であり、昭和35年度を初年度とした5年ごとの推移を示す。

(注2) 職員数には建設従事職員を含まない。

営業線のあらまし

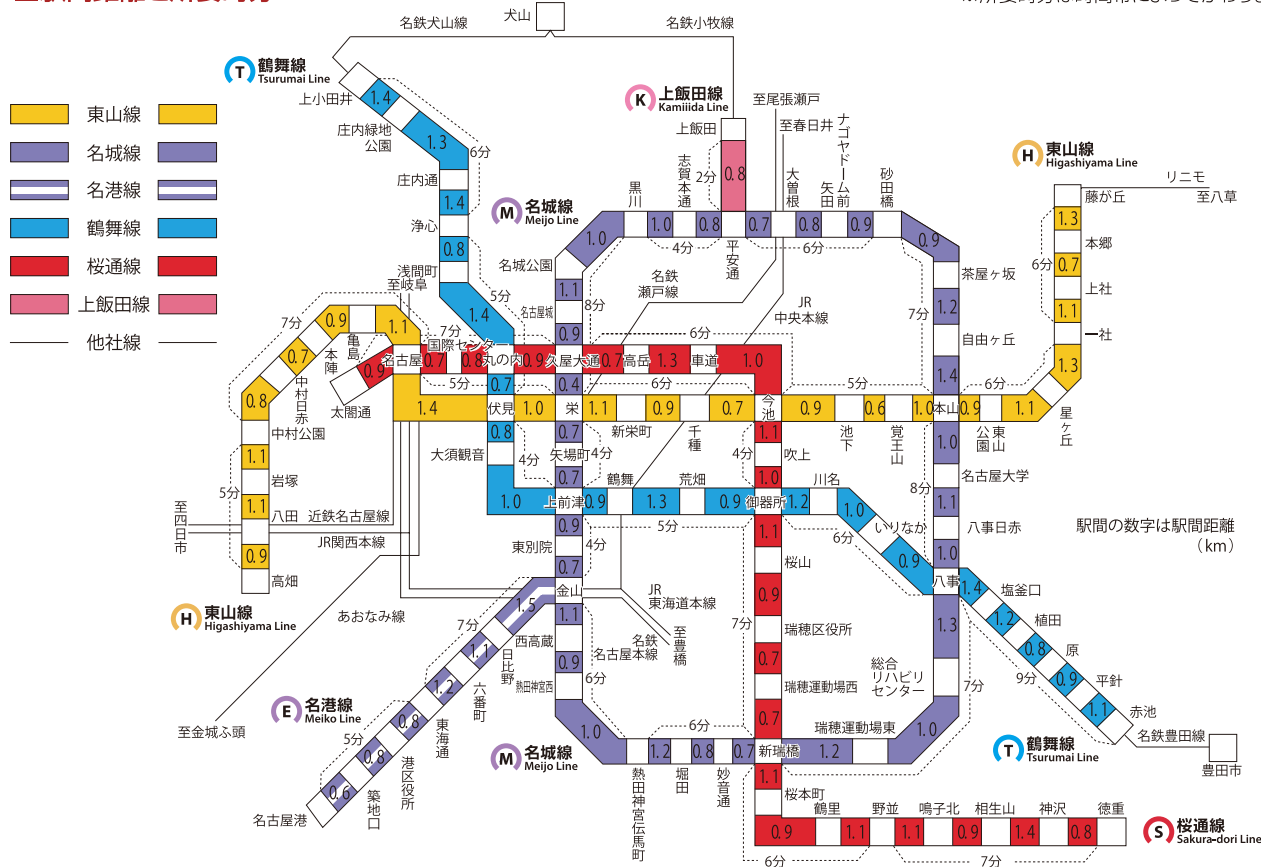
項目	線名	東山線	名城線	名港線	鶴舞線	桜通線	上飯田線
営業	営業区間	高畑～藤が丘	大曽根～大曽根	金山～名古屋港	上小田井～赤池	太閤通～徳重	上飯田～平安通
	営業キロ	20.6 km	26.4 km	6.0 km	20.4 km	19.1 km	0.8 km
	駅数 (注)	22 駅	28 駅	7 駅	20 駅	21 駅	2 駅
	平均駅間距離	0.982 km	0.941 km	1.000 km	1.076 km	0.956 km	0.800 km
運転	所要時分	40分	60分 (環状運転)	12分	35分	37分	2分
	運転間隔 (平日)	朝2分 夕3分	大曽根～栄～金山 朝3～3.5分 夕3.5分 大曽根～名古屋大学～金山 朝6～7分 夕7分	朝5～6分 夕6～7分	朝4分 夕5分	朝4分 夕6分	朝7.5分 夕10分
	昼間時 (平日)	6分	大曽根～栄～金山 5分 大曽根～名古屋大学～金山 10分	10分	7.5分	7.5分	15分
車両	車両組成	6両	6両	6両	6両	5両	4両
	在籍車両数	288両 (48編成)	216両 (36編成)	150両 (25編成)	120両 (24編成)	8両 (2編成)	
	定員 (座席)	先頭車 96人(32人)・97人(31人) 中間車 107人(40人)・106人(37人)	97人(34人)・96人(32人) 107人(40人)	138人(46人)・136人(45人) 152人(54人)・147人(51人)	138人(45人)・127人(48人)・136人(45人) 152人(54人)・140人(54人)・147人(51人)	128人(39人) 135人(46人)	
軌道・電気	軌間	1,435mm	1,435mm	1,067mm	1,067mm	1,067mm	1,067mm
	電気方式	サードレール式600V(直流)	サードレール式600V(直流)	架空線式1,500V(直流)	架空線式1,500V(直流)	架空線式1,500V(直流)	架空線式1,500V(直流)
信号・通信	信号設備	ATC・ATO	ATC・ATO	ATC	ATC・ATO	ATC	ATC
	通信設備	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置	列車無線装置
相互直通区間		-	-	犬山～(21.4キロ)～上小田井～赤池～(16.6キロ)～豊田市	-	犬山～(20.6キロ)～上飯田～平安通	
1日当たり乗車人員		430,034人	345,137人	178,974人	177,637人	16,150人	

(注) 交差駅は、それぞれの路線に含める。

1日当たりの乗車人員は令和4年度決算(見込)その他は令和5年6月現在

■ 駅間距離と所要時分

※所要時分は時間帯によってかわります。



■ 駅別乗車人員 (1日当たり)

駅名	乗車人員	1	2	3	4	5
高 畑	9,701					
八 田	6,583					
岩 塚	7,866					
中村公園	11,265					
中村日赤	4,466					
本 陣	7,672					
亀 島	5,659					
名 古 屋	167,085					
伏 見	42,796					
栄	91,700					
新栄町	14,408					
千 種	22,095					
今 池	20,946					
池 下	11,935					
覚 王 山	8,656					
本 山	13,725					
東山公園	6,874					
星ヶ丘	22,301					
一 社	12,535					
上 社	9,419					
本 郷	9,888					
藤が丘	26,206					
大曾根	16,890					
平安通	5,567					
志賀本通	6,745					
黒 川	12,842					
名城公園	5,917					
名古屋城	19,784					

駅名	乗車人員	1	2	3	4	5
久屋大通	23,129					
矢 場 町	26,413					
上 前 津	22,085					
東 別 院	7,191					
金 山	70,511					
西 高 蔵	2,592					
熱田神宮西	3,582					
熱田神宮伝馬町	6,702					
堀 田	6,003					
妙 音 通	1,764					
新 瑞 橋	11,413					
瑞穂運動場東	4,006					
総合リハビリセンター	2,793					
八 事	14,231					
八事日赤	5,189					
名古屋大学	8,507					
自由ヶ丘	5,999					
茶屋ヶ坂	6,742					
砂 田 橋	6,818					
ナゴヤドーム前矢田	9,131					
日 比 野	8,254					
六 番 町	6,601					
東 海 通	6,647					
港区役所	4,022					
築 地 口	3,640					
名古屋港	5,172					
(上小田井経由)	10,937					
上小田井	8,051					
庄内緑地公園	3,947					
庄 内 通	6,865					
浄 心	6,741					

駅名	乗車人員	1	2	3	4	5
浅 間 町	4,730					
丸 の 内	16,063					
大須観音	8,421					
鶴 舞	13,051					
荒 畑	4,054					
御 器 所	10,666					
川 名	5,370					
いりなか	6,552					
塩 釜 口	10,711					
植 田	7,443					
原	8,865					
平 針	6,986					
赤 池	9,480					
(赤池経由)	15,948					
太 閤 通	6,184					
国際センター	5,173					
高 岳	8,375					
車 道	6,334					
吹 上	6,514					
桜 山	11,510					
瑞穂区役所	7,047					
瑞穂運動場西	3,307					
桜 本 町	3,592					
鶴 里	2,879					
野 並	5,855					
鳴子北	4,238					
相 生 山	3,826					
神 沢	2,803					
徳 重	9,208					
(上飯田経由)	13,331					
上 飯 田	2,212					

令和4年度決算 (見込)

駅施設のあらまし

線名	駅名	ホーム形式と規模 幅×長さ	ホーム までの深さ	エスカ レーター	エレ ベーター	出入口数	多機能 トイレ
東山線	高畑島	式 8.7×110	15.8	6	2	5	2
	八田	〃 9.9×110	18.4	6	2	4	2
	岩塚	〃 8.7×110	18.8	6	2	4	2
	中村公園	相対式 5.0×110	13.3	3	3	6	2
	中村日赤	〃 3.5×109	12.3	2	4	2	2
	本陣	〃 4.0×110	11.0	2	3	4	2
	亀島	〃 4.0×110	11.2	4	3	4	2
	名古屋島	式 9.0×200	8.3	16	7	13	4
	伏見	相対式 4.0×100	5.3	16	6	10	2
	栄	島式 11.0×120	8.5	14	6	17	1
	新栄町	相対式 4.0×104	7.2	—	2	2	3
	千種	〃 5.0×104	8.3	—	3	5	2
	今池	島式 9.0×120	9.2	8	5	12	2
	池下	相対式 4.0×105	6.3	2	2	2	1
	覚王山	〃 3.5×104	9.8	2	3	4	2
	本山	〃 3.8×105	11.0	14	4	6	6
	東山公園	島式 9.0×105	11.4	2	2	4	2
	星ヶ丘	〃 9.0×110	11.6	1	2	6	2
	一社	相対式 3.5×110	8.3	2	3	2	2
	上社	〃 3.7×111	8.5	2	2	4	2
名城線	本郷	〃 4.0×120	8.2	2	2	2	2
	藤が丘	〃 4.0×107	7.8	2	3	3	2
	大曽根	島式 11.4×110	12.6	2	1	6	2
	平安通	相対式 4.0×110	11.9	9	3	5	6
	志賀本通	〃 3.5×112	12.9	4	3	4	2
	黒川	島式 10.4×110	13.9	2	2	4	2
	名城公園	〃 11.0×110	13.3	2	2	2	2
	名古屋城	〃 7.2×105	11.2	—	2	7	2
	久屋大通	相対式 6.0×110	11.4	7	7	4	3
	栄	〃 5.7×106	13.7	東山線 参照			
	矢場町	〃 5.1×110	11.4	2	2	6	2
	上前津	〃 5.5×105	10.9	4	5	11	2
	東別院	〃 3.5×108	11.3	3	3	4	2
	金山	島式 10.7×118	12.2	13	3	8	2
	西高蔵	相対式 3.5×111	14.2	2	3	2	2
	熱田神宮西	〃 4.0×111	11.8	2	3	4	2
	熱田神宮伝馬町	〃 3.5×110	12.4	1	3	4	2
	堀田	島式 16.2×110	13.6	1	2	4	2
	妙音通	相対式 3.5×110	12.9	2	3	2	2
	新瑞橋	島式 11.4×110	12.6	10	3	8	1
	瑞穂運動場東	〃 8.1×105	19.0	5	3	3	2
	総合リハビリセンター	〃 8.0×105	17.3	1	4	2	2
	八事	相対式 3.5×105	12.8	13	7	6	4
	八事日赤	〃 3.5×105	19.9	7	4	2	2
	名古屋大学	島式 9.0×105	22.1	7	2	3	2
	本山	〃 8.9×105	23.1	東山線 参照			
	自由ヶ丘	相対式 3.5×105	19.0	8	3	2	2
	茶屋ヶ坂	〃 3.5×105	13.8	6	3	2	2
	砂田橋	〃 3.5×105	18.4	6	5	3	2
	ナゴヤドーム前矢	島式 10.0×105	16.4	4	1	3	2

線名	駅名	ホーム形式と規模 幅×長さ	ホーム までの深さ	エスカ レーター	エレ ベーター	出入口数	多機能 トイレ
名港線	日比野	島式 11.0×110	14.6	5	2	5	2
	六番町	相対式 3.5×111	14.5	4	3	4	2
	東海通	〃 3.5×110	15.5	3	3	4	2
	港区役所	〃 3.5×110	13.7	2	3	2	2
	築地口	〃 4.0×110	14.7	2	3	4	2
	名古屋港	島式 7.4×110	13.6	3	2	3	2
	上小田井	〃 7.0×170	7.4	4	2	2	1
	庄内緑地公園	相対式 3.5×170	17.9	6	3	3	2
	庄内通	島式 8.5×170	18.3	5	2	2	2
	浄心	相対式 3.5×170	16.7	7	4	5	3
鶴舞線	浅間町	〃 3.5×170	20.3	6	3	4	2
	丸の内	島式 10.1×170	18.2	14	8	8	3
	伏見	相対式 7.0×170	17.7	東山線 参照			
	大須観音	〃 3.5×170	17.0	3	3	3	2
	上前津	〃 5.5×170	17.8	名城線 参照			
	鶴舞	〃 3.5×170	13.6	2	3	6	2
	荒畑	〃 3.5×170	15.6	3	3	4	2
	御器所	〃 3.5×175	14.6	10	4	8	1
	川名	〃 3.5×170	13.4	2	3	4	2
	いりなか	〃 3.5×170	14.2	3	3	2	2
桜通線	八事	島式 9.5×170	14.4	名城線 参照			
	塩釜口	〃 10.1×170	16.0	1	2	3	2
	植田	相対式 3.5×170	12.6	3	3	3	2
	原	〃 3.5×170	14.2	4	3	2	2
	平針	〃 3.5×170	13.2	3	3	2	2
	赤池	島式 8.6×170	8.7	2	3	3	2
	太閤通	〃 9.1×170	16.5	5	2	4	1
	名古屋	〃 12.1×170	20.2	東山線 参照			
	国際センター	〃 9.6×170	19.7	2	2	4	1
	丸の内	〃 16.0×170	23.9	鶴舞線 参照			
上飯田線	久屋大通	〃 18.9×170	20.7	名城線 参照			
	高岳	〃 18.9×170	18.9	4	2	4	2
	車道	〃 9.1×170	14.8	5	2	4	1
	今池	〃 11.7×170	17.8	東山線 参照			
	吹上	〃 9.1×170	17.0	3	2	7	2
	御器所	〃 10.6×170	21.9	鶴舞線 参照			
	桜山	〃 9.1×170	12.7	3	2	8	1
	瑞穂区役所	〃 7.6×170	12.0	3	2	4	1
	瑞穂運動場西	〃 8.6×170	15.9	7	2	5	2
	新瑞橋	〃 9.6×170	20.2	名城線 参照			
上飯田線	桜本町	〃 8.6×170	18.2	3	2	4	1
	鶴里	〃 7.6×170	18.3	4	2	2	1
	野並	〃 8.6×170	15.7	9	3	4	1
	鳴子北	〃 6.2×125	14.6	3	2	2	2
	相生山	〃 6.1×125	20.2	2	3	2	2
	神沢	〃 6.2×125	20.0	1	3	2	2
	徳重	〃 7.2×125	17.9	6	3	2	2
	上飯田	〃 7.6×130	21.8	7	4	3	2
	平安通	〃 8.6×130	20.3	名城線 参照			

(令和5年4月現在)

車 両

地下のトンネル内を走行する地下鉄車両には、厳しい条件が課せられており、高度な安全性を確保しています。

車体はアルミやステンレスにより軽量化を図るとともに、回生制動付VVVFインバータ制御方式を採用して、省エネルギーに優れた制御装置を採用しています。

N1000形（東山線）



2000形（名城線・名港線）



N3000形（鶴舞線）



6050形（桜通線）



7000形（上飯田線）



■車両主要諸元

形 式	最大寸法 長×幅×高（ミリ）	定員 （座席）	自重t	出 力
5050形（東山線）	15,580×2,546×3,440	96人 (32)	21.9 22.0	モーターは中間車のみ 75kW×4
N1000形（東山線）	15,580×2,548×3,440	97人 (31)	22.7	モーターは中間車のみ 75kW×4
2000形（名城線・名港線）	15,580×2,546×3,440	97人・96人 (34)・(32)	22.0	モーターは中間車のみ 75kW×4
3050形（鶴舞線）	20,000×2,796×4,090	138人 (46)	36.0 30.0	モーターは3150形、 3350形、3750形のみ 170kW×4
N3000形（鶴舞線）	20,000×2,781×4,000	136人 (45)	31.0 31.4※	モーターはN3200形 N3300形、N3700形のみ 170kW×4
6000形（桜通線）	20,000×2,796×4,140	127人・138人 (48)・(46)	35.2 30.0	モーターは6100形、 6300形、6700形のみ 170kW×4
6050形（桜通線）	20,000×2,779×4,040	136人 (45)	31.3 31.6	モーターは中間車のみ 170kW×4
7000形（上飯田線）	20,000×2,773×4,010	128人 (39)	29.7 29.8	モーターは中間車のみ 170kW×4

※車両主要諸元（先頭車を抜粋）

※N3101は28.1、28.3

（令和5年4月現在）

人と環境にやさしく

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも利用しやすく快適で便利な地下鉄をめざしています。

<やさしく>

地下鉄駅

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも安心して快適にご利用いただけるよう、エレベーターや多機能トイレなど、バリアフリー施設の整備に努めてきました。

また、目の不自由な方が利用しやすいように、視覚障害者誘導用ブロック、点字による駅構内触知図案内板及び地下鉄改札口・トイレなどに音響・音声案内装置などを整備しています。

■駅リニューアル

明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、開業後50年以上経過した駅について、駅構内及び出入口の壁・床・天井・照明などを、順次リニューアルを進めています。

■駅トイレの改良

駅の一般トイレについては、洋式便器や温水洗浄便座を整備していくとともに、小さなお子さまをお連れの方にもご利用しやすいように、ベビーチェアや小児用洗面器、男児用小便器を設置しています。

■授乳室の設置

子育て支援の観点から、乳児を連れて外出しやすい環境づくりを支援するために安心してご利用いただけるよう、名古屋駅、千種駅及び伏見駅に設置しています。

■自動体外式除細動器（AED）の設置

駅においてお客さまが、突然、心停止状態に陥った時に備え、自動体外式除細動器（AED）※を改札口付近に設置しています。

平成17年度から設置を開始し、平成22年度末までに全駅（名鉄管理駅：上小田井、上飯田駅除く）に設置しました。

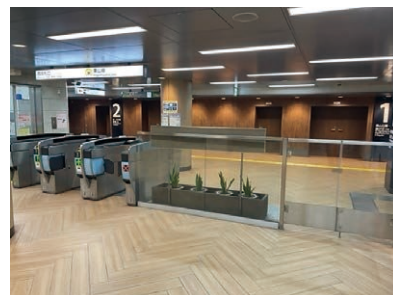
※ 自動体外式除細動器（AED）とは、心臓が小刻みに痙攣し、血液を身体全体に送り出すことができなくなる状態（心室細動）の際に、電気ショックを与えて正常な状態を取り戻させるための医療器具で、一般の人でも使用することが認められています。

■自動改札機

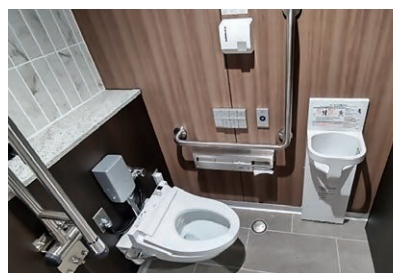
車いすをご利用の方も通過できる幅広通路改札機を設置しています。

■ホームと車両の段差・隙間の解消

名城線・名港線において、車両床面とホームとの間に段差がある駅を、車いす利用者をはじめ誰もが乗降しやすくするため、ホームの嵩上げを行うなど、ホームと車両の隙間解消を進めています。



駅リニューアル



一般トイレ



自動体外式除細動器
（AED）



幅広通路改札機



ホームと車両の段差・隙間の解消

地下鉄車両

お年寄りや乳幼児をお連れの方、身体の不自由な方をはじめ、どなたにも安心して快適にご利用いただけるよう、さまざまな取組みにより、バリアフリー化を推進しています。

■スタンションポール

お客さまの身体を保持したり、立ち上がりを補助するために、座席シートにスタンションポールを設置しています。また、定員着席のための座席区分を明確にしています。



スタンションポール

■車内扉位置点字標示

目の不自由なお客さまに対し、地下鉄車内の乗車位置が確認できるよう、車両扉の車内側に点字による標示を掲出しています。



優先席

■優先席

各車両の連結部付近の座席を、お年寄りや妊産婦、身体の不自由な方などの着席を優先的にお願いする優先席を設けており、優先席であることや優先席を必要とする人を分かりやすくするため、ピクトグラム（絵文字）を利用したステッカーを掲出しています。

また、外見からは分からなくても援助が必要な方のため、優先席付近にヘルプマークステッカーも掲出しています。

優先席付近では、混雑時に携帯電話の電源をお切りいただくようご協力をお願いしています。



■車いすスペース（ベビーカースペース）

車いすをご利用のお客さまにも安心してご乗車いただくため、車いすスペースを設置しています。

また、ベビーカーをご利用のお客さまもご利用いただきやすいようにベビーカーマークも表示しています。

■女性専用車両

痴漢等迷惑行為の防止対策として、お客さまに安心して地下鉄をご利用いただけるよう、女性専用車両を運行しています。

東山線では、平成27年4月1日より、平日の始発から終発までに運行時間帯を拡大しました。

また、平成28年7月4日から、名城線・名港線において、始発から午前9時まで女性専用車両を運行しています。



車いすスペース
（ベビーカースペース）

<わかりやすく>

■案内サイン

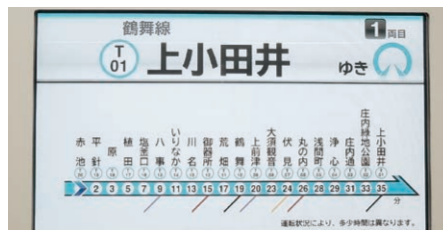
市バス・地下鉄の乗り換えやエレベーター・出入口の位置などをどなたにもわかりやすくご案内するため、ピクトグラムや駅番号を活用した案内サインへの更新を順次進めています。



乗り換え案内サイン

■液晶式車内案内表示装置（ハッチービジョン）

車内には、次の駅名、行先等を案内する車内案内表示装置を設置していますが、東山線、鶴舞線、桜通線の新型車両には、液晶画面で案内するハッチービジョンを導入しています。また、訪日外国人の方の利便性向上を図るため、日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルの5言語表示をしています。



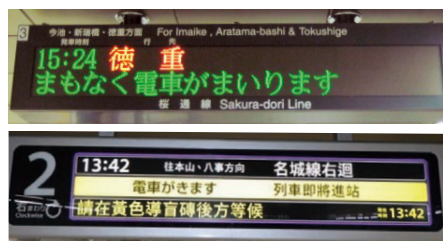
液晶式車内案内表示装置（ハッチービジョン）

■旅客案内表示装置

地下鉄全駅のホームや改札口に、列車の運行案内を行う案内表示装置を設置しています。

表示部に行先や列車接近案内等の運行情報や営業案内を表示するなど、一つの画面で多くの情報を表示しています。

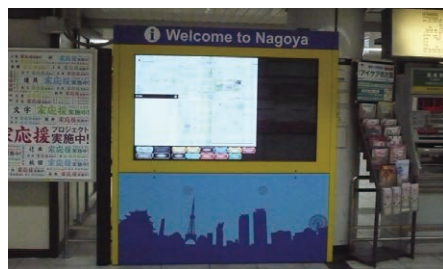
名城線・名港線は、多言語表示が行えるカラー液晶式になっています。



旅客案内表示装置
（上：LED式、下：カラー液晶式）

■ウェルカムボード

訪日外国人旅行者の方にもご利用いただきやすい環境づくりとして、日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルの5言語で地下鉄の利用方法や観光地案内などを、液晶ディスプレイに表示するウェルカムボードを名古屋駅に設置しています。



ウェルカムボード

■地下鉄駅構内の多言語表示

駅の記号・番号表示と合わせて、地下鉄駅の①出入口、②改札口、③きっぷうりば、④精算機の案内について、日本語（漢字、ひらがな）、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルの5言語表示を行うよう進めています。



多言語表示

■地下鉄運行情報提供大型モニターの導入

地下鉄及び他社線の遅延や運転見合わせ、振替輸送などの運行情報を、誰にもわかりやすく提供するため、画像や多言語で表示する大型モニターを、主要駅（名古屋駅、栄駅、金山駅）の改札口付近等に設置します。

■タブレット端末

訪日外国人や聴覚に障害のある方などに外国語での対応や、音声、文字、画像でのご利用案内等を行うため、タブレット端末を全駅に配備しています。

<環境にやさしく>

■駅構内及び車内の照明のLED化

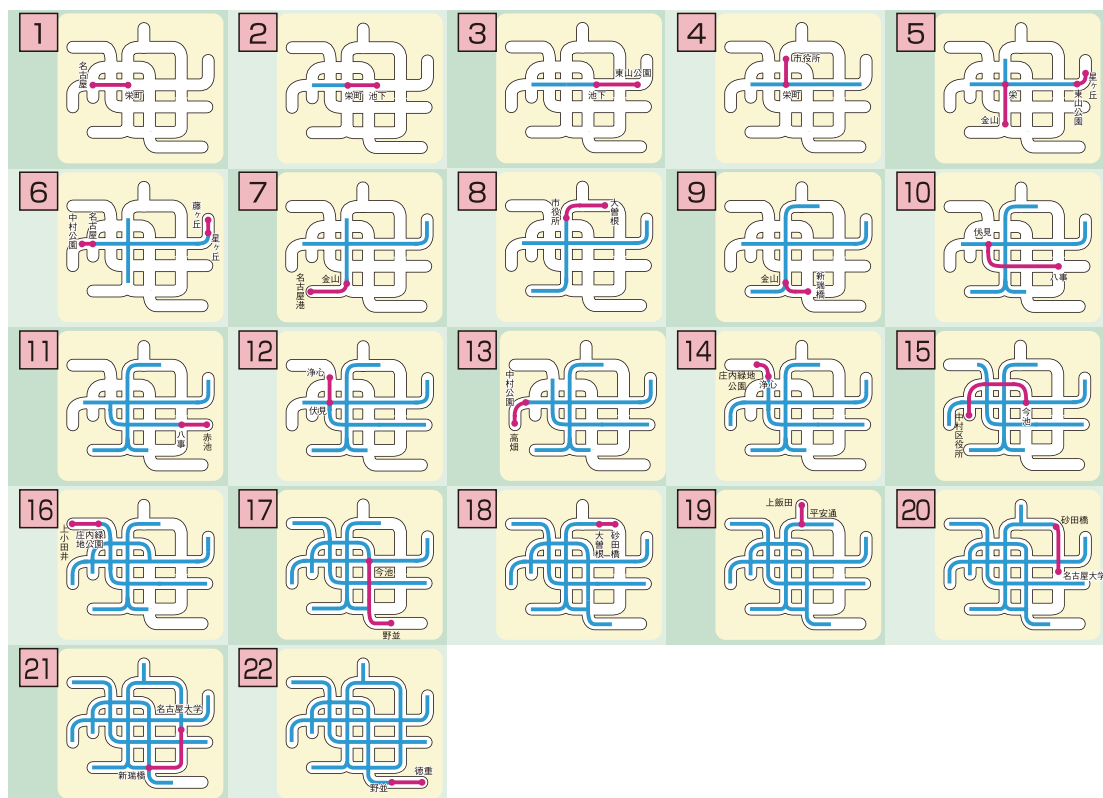
環境負荷を低減するため、駅構内及び車内の照明を、省エネ効果が高いLEDへ改修を進めています。



地下鉄のあゆみ

路線の延伸

No.	年	月	日	概 要	営業キロ		建設 キロ	建設費(億円)	
					延長	全線		総 額	当分の間
1	昭和32	11	15	名古屋 ～ 栄町	2.4	2.4	2.6	26.6	10
2	昭和35	6	15	栄町 ～ 池下	3.6	6.0	3.5	37.9	11
3	昭和38	4	1	池下 ～ 東山公園	2.5	8.5	2.6	48.5	19
4	昭和40	10	15	栄町 ～ 市役所	1.3	9.8			
—	昭和41	6	1	駅名変更 栄町 → 栄 伏見町 → 伏見			4.6	99.9	22
5	昭和42	3	30	栄 ～ 金山 東山公園 ～ 星ヶ丘	3.0 1.1	13.9	1.2	24.9	20
6	昭和44	4	1	星ヶ丘 ～ 藤ヶ丘 名古屋 ～ 中村公園	4.4 3.5	21.8	4.7 3.8	75.2 115.1	16 30
—	昭和45	12	10	東山線「上社」駅新設					
7	昭和46	3	29	金山 ～ 名古屋港	6.0	27.8	6.1	237.3	39
8	昭和46	12	20	市役所 ～ 大曽根	4.6	32.4	4.6	191.3	41
9	昭和49	3	30	金山 ～ 新瑞橋	5.7	38.1	5.6	264.1	47
10	昭和52	3	18	伏見 ～ 八事	8.0	46.1	8.4	744.4	89
11	昭和53	10	1	八事 ～ 赤池	5.4	51.5	5.7	578.7	102
—	昭和54	7	29	名鉄豊田線との相互乗入れ開始					
12	昭和56	11	27	浄心 ～ 伏見	2.9	54.4	2.9	493.0	168
13	昭和57	9	21	中村公園 ～ 高畑	3.1	57.5	3.0	608.6	205
14	昭和59	9	6	庄内緑地公園 ～ 浄心	2.7	60.2	2.8	446.6	162
15	平成 元	9	10	中村区役所 ～ 今池 名城線「久屋大通」駅新設	6.3	66.5	7.5	2,523.2	336
16	平成 5	8	12	上小田井 ～ 庄内緑地公園 名鉄犬山線との相互乗入れ開始	1.4	67.9	1.4	396.0	273
17	平成 6	3	30	今池 ～ 野並	8.6	76.5	8.3	1,775.4	213
18	平成12	1	19	大曽根 ～ 砂田橋	1.7	78.2			
19	平成15	3	27	平安通 ～ 上飯田 名鉄小牧線との相互乗入れ開始	0.8	79.0	6.2	1,609.8	258
20	平成15	12	13	砂田橋 ～ 名古屋大学	4.5	83.5			
21	平成16	10	6	名古屋大学 ～ 新瑞橋 駅名変更 藤ヶ丘 → 藤が丘 瑞穂運動場 → 瑞穂運動場西	5.6	89.1	5.1	937.4	184
22	平成23	3	27	野並 ～ 徳重	4.2	93.3	4.1	671.5	164



交通局は、市バス・地下鉄の施設や車両等を有効活用することで収入を得ています。

具体的には、局施設・車両内などにおける広告媒体の提供、賃貸ビルの貸付け、駅構内におけるお客さまの利便性向上のための店舗・自動販売機などの設置などにより収入を得て、それを市バス・地下鉄両事業の健全な経営の一助としています。令和4年度は約55億円の収入がありました。

■ 広告事業

市バス・地下鉄は、市域のほぼ全域で毎日多くのお客さまにご利用いただいていることから、広告効果が高く、多くの皆さまに広告を掲出していただいています。

市バスでは、車体全体に広告をデザインする「ラッピングバス広告」、車体外側に看板を掲出する「外側板広告」、車内窓上にポスターを掲出する「額面広告」などにより、広告料収入を得ています。

地下鉄では、全車両に掲出される「中吊広告」、動画等による情報発信が可能な複数面のデジタルサイネージ「スクエアビジョン広告」、主要駅の構内で多数の柱に同時にポスターを貼る「駅マルチ広告」、総延長94mにわたる「名古屋駅ビッグウォールセット広告」、PRスペースを兼ね備えた大型ボード「名古屋駅サンフラワーボード広告」などにより、広告料収入を得ています。

また、新しい媒体として、地下鉄東山線車内にデジタルサイネージ広告を順次設置するほか、名古屋駅に120インチ相当のデジタルサイネージ広告を設置します。



ラッピングバス広告



名古屋駅スクエアビジョン広告



栄駅スクエアビジョン広告



地下鉄車内デジタルサイネージ広告
(画像はイメージです)

■賃貸ビル・地下街等

通勤や通学のお客さまが毎日多くご利用になる地下鉄駅やバスターミナルの敷地に建設したビルを賃貸するとともに、駅構内のスペースを地下街として有償で使用を許可しています。また、地下鉄換気口用地等を駐車場用地などとして賃貸しています。

■店舗・自動販売機等

地下鉄駅やバスターミナルにおいて、お客さまの多様なニーズに応じて、店舗・自動販売機・ATM・インフォメーションボックス等を設置しています。



金山駅店舗

■伏見駅ナカ商業施設

伏見駅構内において、駅の利便性及び魅力向上を図るため、「ミチからマチへ～ Fushimi Crossing Place～」を事業コンセプトに、多数の店舗を一体的に展開する駅ナカ商業施設「ヨリマチ FUSHIMI」を整備し、令和元年12月11日に開業しました。「普段使いをより魅力的に」をテーマに、駅利用者の日常生活に魅力を添える商品やサービスを揃えた店舗が出店しています。



■携帯電話等通信

お客さまに携帯電話等をご利用いただけるよう、通信事業者等が地下鉄駅及びトンネル内の局施設を有償で使用し、通信環境を整備しています。

<情報の提供>

■交通局サービスセンター（定期券うりば）

定期券をはじめ、各種乗車券を販売しています。
名古屋駅、栄駅、金山駅の3か所で営業しています。



交通局サービスセンター（定期券うりば）

■市バス・地下鉄テレホンセンター

運行時刻、乗車経路、のりば案内、乗車料金などの電話案内を行っています。

☎ (052) 522-0111
FAX (052) 951-3344
営業時間 8時～19時（年中無休）

■交通局お忘れ物取扱所

お忘れ物について、お客さまからのお問い合わせへの回答、引き渡しを行っています。

交通局栄サービスセンターと併設しています。

☎ (052) 959-3847
営業時間 9時～20時
（12月31日、1月3日は10時～17時）
休業日 1月1日・2日



交通局お忘れ物取扱所

■交通局ウェブサイト

市バス・地下鉄の運行情報や時刻表、料金情報のほか、検索された乗換経路を地図上で表示する「なごや乗換ナビ」、市バスの現在位置を把握できる「市バス接近情報」など、様々な機能を備えています。

また、訪日外国人の方に対応するため、英語・中国語（繁体字・簡体字）、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語のページを公開しています。



「なごや乗換ナビ」検索経路のルート表示



スマートフォントップ画面

交通局公式ウェブサイトアドレス
PC・スマートフォンともに

<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/>



■交通局公式スマートフォンアプリ「なごや乗換ナビ」

乗換検索と運行情報、市バス接近情報を提供しています。スマートフォンのGPS情報を使用し、現在地からの経路検索を行うことが可能です。

■SNS

Facebook、Instagramで交通局からのお知らせなどを発信しています。

また、Twitterでは日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングルで市バス・地下鉄の運行情報を発信しています。

■路線図（一般用、転入者用）

市バス・地下鉄についての基本情報（地図式の路線図、市バス・地下鉄の料金、主なバスターミナルののりば案内など）を市民・利用者にPRし、サービス向上と乗客誘致を図るため、「市バス・地下鉄路線図」を駅長室などで配布しています。

また、名古屋市へ転入してきた方に対しては、転入をきっかけに市バス・地下鉄を利用していただこうと、転入者向けの路線図を作成しており、全区役所・支所で転入手続き時に配布しています。

■なごやパレット（交通局ニュース）

お出かけ情報を中心に交通局からのお知らせを掲載した情報誌です。

地下鉄駅の改札口付近を始め、市バスの車内、交通局関連施設のほか、名古屋市関連施設で配布しています。

■みんなの市バス・地下鉄

市バス・地下鉄の乗り方や、マナーについて学ぶ、子ども向け（名古屋市内の小学2年生全員に配布）のパンフレットです。

交通局に親しみを持っていただけるように、交通局の市バス・地下鉄などの車両のペーパークラフトと一緒に配布しています。

■出張トーク

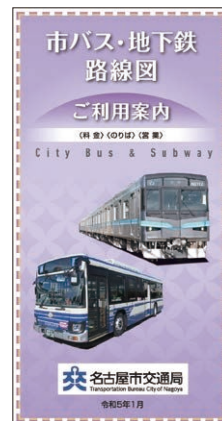
市営交通事業のことをもっと知っていただくため、地域の団体の方々などに向けて交通局職員が交通局事業を紹介する講座を開催しています。

<ご意見の聴取>

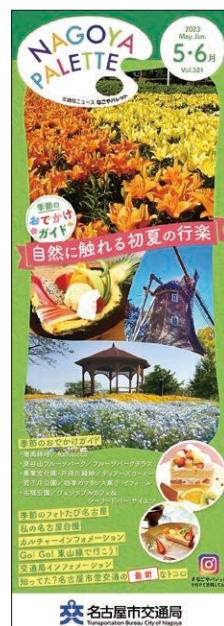
交通局では、お客さまからご意見をいただく取り組みとして、ウェブサイトのご意見受付フォームによる個別意見の聴取やネットアンケートの実施、地域の団体を通じた団体広聴、さらには以下の取り組みを行っています。

■市営交通懇談会

市営交通事業についてのご理解とご支援をいただくとともに広く意見をお聞きし、より便利で、ご利用いただきやすい市バス・地下鉄とするため、8区において地域住民の代表の方々から広く声をお聞きする懇談会を開催しています。



路線図



なごやパレット
(交通局ニュース)



みんなの
市バス・地下鉄
(子ども向け)

■市営交通資料センター

交通事業に関する資料を収集、展示しています。さらに、本物の運転台を使用した地下鉄の運転を疑似体験できる列車運転シミュレータや、パソコンを使って市営交通の歴史や保管している数々の資料を検索できる視聴覚コーナーなどがあります。

所在地 名古屋市中区丸の内三丁目10番4号(丸の内会館6階)
開館時間 10時～16時(入場無料)
休館日 水曜日(水曜日が休日の場合は、その直後の平日)及び年末年始



市営交通資料センター

■レトロでんしゃ館(名古屋市市電・地下鉄保存館)

市電の代表的な車両3種(1400型、2000型、3000型)、地下鉄開業時の100形車両や台車などを保存している施設です。一般の方もご覧いただくことができます。

所在地 愛知県日進市浅田町笹原30 日進工場北側
開館時間 10時～16時(入場無料)
休館日 水曜日(水曜日が休日の場合は、その直後の平日)及び年末年始



レトロでんしゃ館

■一日乗車券の特典と「なごや得ナビ」

ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の一日乗車券・24時間券を提示すると、市バス・地下鉄沿線の観光施設や飲食店などで、料金割引やワンドリンクサービス(※お食事された方へのサービス)などの特典を受けることができます。

特典を受けられる施設や飲食店を紹介した特典ガイドブック「なごや得ナビ」を年3回発行し、地下鉄各駅などで配布するほか、交通局ウェブサイトにも同様の情報を掲載しています。

また、外国人観光客向け情報の充実を図るため、「なごや得ナビ」の英語版冊子を発行し交通局ウェブサイトに掲載しています。



なごや得ナビ提携店ステッカー



なごや得ナビ



英語版なごや得ナビ

市バスの魅力向上

市バスに乗ってお出かけできる施設などを紹介したマップ「都心ループバスC-758系統ガイドMAP」の日本語版、英語版を、交通局ウェブサイトで公開しています。

また、市バス沿線フォトコンテスト「市バスで行ってみたいくなる場所」を開催し、交通局ウェブサイト上で公開しました。さらに撮影場所や最寄りのバス停を紹介した「市バス沿線お出かけ情報」ポスターを作製するなど、地域の魅力発信や市バスの利用促進に努めています。



ハッチーキッズクラブ

子どもたちに、市バス・地下鉄の魅力や楽しさを知っていただくため、小学4～6年生を対象に、市バス・地下鉄ファンクラブ「ハッチーキッズクラブ」を運営しています。

会員には会員限定お楽しみ企画への参加や会報などの特典があります。



過去のお楽しみ企画の様子

ウォーキングイベントの実施（高齢者向け利用促進の実施）

市バス・地下鉄を利用したお出かけを促進するため、ウォーキングイベントを実施しています。

地下鉄駅沿線の見どころを楽しんでいただくだけでなく、コース上のポイントにちなんだ問題を解きながらウォーキングを楽しむ「ヒラメキさんぽ」は、期間中のお好きな日時に参加いただけるウォーキングイベントです。

令和5年度は、年12回に回数を拡大するほか、高齢者のお出かけ促進を図るため、名古屋市立大学医学研究科監修の高齢者向けコースを設定するなど、より多くの方に参加いただける企画を実施します。



■プロスポーツチームとの連携

地元プロスポーツチームと連携し、企画乗車券の発売やスタンプラリー等を行い、試合観戦等に市バス・地下鉄を利用してお出かけいただくことを促すとともに、スポーツ振興にも貢献します。



■Nagoya POP UP ARTIST

駅のにぎわいの創出やお出かけのきっかけづくりのために、平成27年10月から観光文化交流局との共催により、オーディションにより選ばれたアーティストに地下鉄駅構内をはじめ公園や民間施設など20か所（令和5年4月現在）を演奏等の場として提供するナゴヤ・パフォーマー事業「Nagoya POP UP ARTIST」を実施しています。

※交通局においては、桜山・今池・大曽根の3か所を会場としています。



Nagoya POP UP ARTIST

■交通局オリジナルグッズ

市バスや地下鉄、マスコットキャラクターの「ハッチー」、マナカキャラクターなどのデザインを用いたオリジナルグッズを販売しています。

また、周年事業などの機会を捉えて、様々な記念グッズを販売しています。

令和4年度は、市営交通100周年を記念したグッズとして、「市電2000型模型」や「銘板キーホルダー」、「駅名標ティッシュケース」など全9種類のグッズを発売しました。



「市電2000型模型」



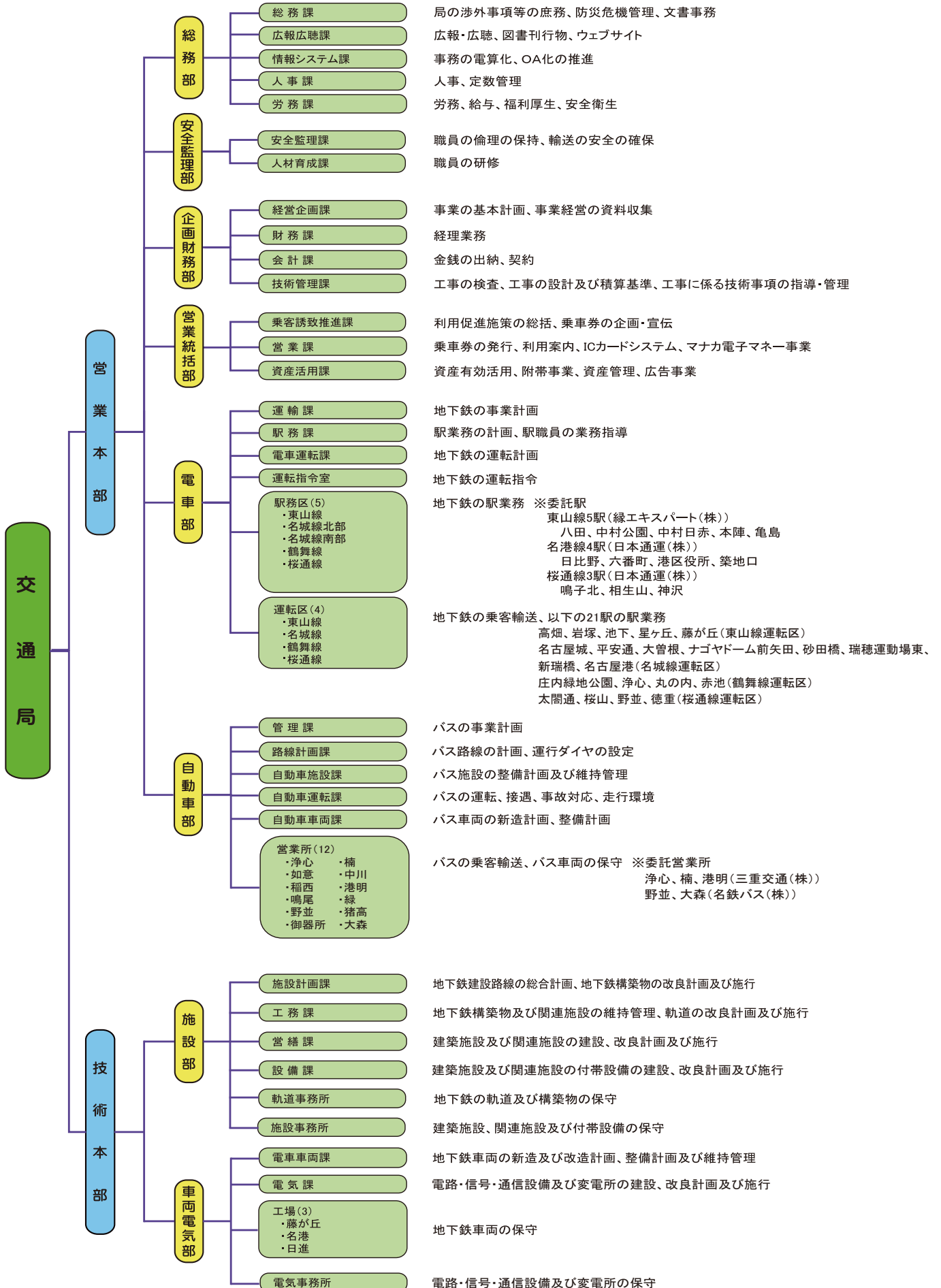
「銘板キーホルダー」



「駅名標ティッシュケース」

組織図

令和5年7月1日現在



年 月 日		主 要 事 項
明治31年 (1898)	5. 6	名古屋電気鉄道(株)によって市内電車笹島・ 県庁前(久屋町)間開通
大正11年 (1922)	8. 1	名古屋電気鉄道(株)から市内線を買収し、 市営交通事業開始 名古屋市電気局創設
昭和 5年 (1930)	2. 1	市営バス営業開始
12年 (1937)	3. 1	民営市内電車買収完了
15年 (1940)	2. 1	民営バス市内線買収完了
18年 (1943)	5. 10	無軌条電車(トロリーバス)営業開始
20年 (1945)	10. 2	名古屋市電気局を名古屋市交通局と改称
25年 (1950)	8. 1	貸切バス営業開始
26年 (1951)	1. 16 10. 3 10. 25	無軌条電車(トロリーバス)営業廃止 市営定期観光バス営業開始 バスのワンマン運転開始
27年 (1952)	10. 1	地方公営企業法施行
29年 (1954)	8. 31	地下鉄建設起工式
32年 (1957)	11. 15	地下鉄1号線名古屋・栄町間(2.4km)開通
34年 (1959)	9. 26	伊勢湾台風襲来被害甚大
35年 (1960)	6. 15	地下鉄1号線栄町・池下間(3.6km)開通
37年 (1962)	10. 14	市営定期観光バス営業廃止
38年 (1963)	4. 1	地下鉄1号線池下・東山公園間(2.5km)開通
40年 (1965)	3. 11 10. 15	名古屋市交通事業の5ヵ年計画を発表 地下鉄2号線市役所・栄町間(1.3km)開通
41年 (1966)	2. 20 6. 1	5ヵ年計画に基づくワンマン運転開始 路面電車1系統、バス4系統 地下鉄栄町駅を栄に、伏見町駅を伏見に駅名変更
42年 (1967)	3. 3 3. 25 3. 30	栄バスターミナル設置 第1次財政再建計画策定 地下鉄1号線東山公園・星ヶ丘間(1.1km) 及び2号線栄・金山間(3.0km)開通
44年 (1969)	4. 1 5. 1	地下鉄1号線名古屋・中村公園間(3.5km) 及び星ヶ丘・藤ヶ丘間(4.4km)開通 地下鉄1号線を東山線に、2号線を名城線に路線名変更
45年 (1970)	6. 1 12. 10	バス2区系統ワンマン運転開始 地下鉄東山線上社駅新設
46年 (1971)	1. 10 3. 29 12. 20	バスレーン設置開始 地下鉄名城線金山・名古屋港間(6.0km)開通 地下鉄名城線市役所・大曽根間(4.6km)開通
47年 (1972)	3. 1	都市交通審議会答申「名古屋圏における旅客 輸送力の整備増強に関する基本的計画」
48年 (1973)	4. 1 8. 1 9. 15 10. 5	バス均一制料金採用 地方公営交通事業の経営の健全化の促進に関する法律施行 70歳以上の人に対し市営交通料金を無料化 バスに優先席設置 市営交通料金無料化を65歳まで拡大
49年 (1974)	2. 8 3. 30 3. 31	第2次再建計画策定 地下鉄4号線金山・新瑞橋間(5.7km)開通 路面電車金山橋・市立大学病院間(3.7km)、 大久手 安田車庫前間(1.0km)及び矢田町四 丁目・昭和町間(15.1km)廃止をもって全廃
50年 (1975)	2. 4 6. 25 12. 29 12. 31	名古屋バスターミナル開設 名古屋駅冷房開始(初の地下鉄駅冷房) 地下鉄に優先席設置 初もうでのための地下鉄全線終夜運転開始

年 月 日		主 要 事 項
51年 (1976)	3. 21 4. 1 9. 20 11. 1 11. 29 12. 1	点字案内板・点字ブロック設置開始(今池駅) バス全車両ワンマン運転化 地下鉄関係定期券磁気化、定期券発行機による発行 地下鉄普通乗車券磁気化 地下鉄自動改札機導入開始 東山線終車30分延長
52年 (1977)	3. 18 12. 20	鶴舞線伏見・八事間(8.0km)開通 名古屋市基本構想議決
53年 (1978)	8. 15 10. 1	名城線・4号線終車30分延長 鶴舞線八事・赤池間(5.4km)開通
54年 (1979)	3. 29 5. 29 7. 29	地下鉄自動改札機設置全駅完了 「名古屋市総合交通計画調査研究報告書」にお いて基幹バス構想公表 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転開始
55年 (1980)	1. 4 4. 17 7. 1 7. 28	名古屋市基本計画公表 名古屋市基幹バス調査委員会設置 東山線5000形冷暖房車両の導入 名古屋市バス路線総合整備計画協議会設置
56年 (1981)	2. 14 3. 30 11. 1 11. 27 12. 23	名古屋市交通問題調査会設置 バスロケーションシステム設置 第1回バス・地下鉄の日 鶴舞線浄心・伏見間(2.9km)開通 名古屋市交通問題調査会第1次答申
57年 (1982)	3. 28 9. 21 11. 1	基幹バス第1号東郊線で運行開始 東山線中村公園・高畑間(3.1km)開通 市バス・地下鉄テレホンセンター開設
58年 (1983)	10. 26	名古屋市交通問題調査会第2次答申
59年 (1984)	4. 1 5. 7 9. 6	営業本部制を創設 名古屋市交通問題調査会第1次答申に基づく 市バス路線再編成 鶴舞線庄内緑地公園・浄心間(2.7km)開通
60年 (1985)	4. 1 4. 30	地下鉄駅構内全面禁煙実施 基幹バス第2号新出来町線で運行開始(全国 初の中央走行方式)
61年 (1986)	4. 1 8. 14	制服の制式 ステンカラー型から背広型に変更 名古屋市基幹公共交通網調査委員会設置
62年 (1987)	2. 19 3. 23	名古屋市交通問題調査会第3次答申 世界デザイン博にむけて「世界デザイン博 PR用市バス塗装デザイン」「市バス停留所標 識デザイン」「地下鉄出入口上屋デザイン」 を一般公募
63年 (1988)	2. 5 3. 1 3. 31 8. 30	名古屋市基幹公共交通網調査委員会答申 プリペイドカード「リリーカード」の発売 (使用開始は4月1日から) 第2次再建計画完了 名古屋市新基本計画公表

年 月 日		主 要 事 項
平成元年 (1989)	4. 1	技術本部制の創設
	6. 10	名城線の2000形冷暖房車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	7. 4	世界デザイン博覧会関連7駅竣工式
	7. 9	金山総合駅供用開始
	7. 15	市制百周年記念事業世界デザイン博覧会開催（～11.26）
	9. 10	桜通線中村区役所・今池間（6.3km）開通 名城線久屋大通駅新設 地下鉄回数券カードの発売開始
	10. 2	バスカードシステムのテスト実施開始（基幹1号系統でのリリースカード使用）
平成 2年 (1990)	12. 5	深夜バス運行開始
平成 3年 (1991)	4. 1	自動車工場において自動車整備事業を開始
	10. 1	バスダイヤ改正の実施（幹線系統の増加等） カードシステムの本格実施
平成 4年 (1992)	1. 10	運輸政策審議会答申「名古屋圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」
	3. 27	低公害バス（ディーゼル・電気ハイブリッドバス）の運行開始
	4. 1	バスのダイヤ（日曜・休日）改正の実施
	11. 20	リフト付バス運行開始
	12. 1	地下鉄池下駅構内にて交通局直営店舗第1号店「DO!池下」開店
平成 5年 (1993)	4. 1	鶴舞線3050形車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	8. 12	鶴舞線上小田井・庄内緑地公園間（1.4km）開通、名鉄犬山線と相互直通運転開始
	9. 27	桜通線車両の輸送力増強の実施（5両組成化）
	10. 1	地下鉄で閑散時間帯における改札口職員の無配置の実施
	10. 7	交通局職員による「違法駐停車等監視活動」専従班の発足
平成 6年 (1994)	1. 20	低公害バス（ディーゼル・蓄圧式ハイブリッドバス）の運行開始
	2. 16	地下鉄桜通線でワンマン運転開始 桜通線全線に電車緊急停止装置設置
	3. 30	地下鉄桜通線今池・野並間（8.6km）開通 地下鉄鶴舞線上小田井駅における折り返し運転開始
	5. 1	地下鉄駅改札内トイレへのトイレ紙の設置
	6. 5	観覧券付き乗車券「いこまいきっぷ」発売開始
	7. 1	制服の変更
	10. 15	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバスの運行開始
平成 7年 (1995)	1. 17	低公害バス（圧縮天然ガスバス）の運行開始
	2. 3	節分バスの運行開始
	3. 24	花見バス（4系統）の運行開始
	7. 1	市バス・地下鉄テレホンセンターの充実（営業時間の延長・新電話番号等）

年 月 日		主 要 事 項
平成 8年 (1996)	3. 27	市営交通資料センターの開設
	4. 1	なごや環境きっぷの発売（毎月1～8日）開始（～平成18年3月8日）
	4. 8	環境保全の日（以後、毎月8日） 鶴舞線平日（昼間）の増発開始
	9. 2	東山線平日（夜間）の増発開始
平成 9年 (1997)	1. 31	名古屋市交通問題調査会第4次答申
	3. 14	超低床ノンステップバスの運行開始
	4. 5	鶴舞線土曜・休日 併用ダイヤの実施
	10. 1	耳や言葉が不自由な方のためにファックスサービス開始（市バス・地下鉄案内所など4カ所）
平成10年 (1998)	3. 12	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバス本格導入
	5. 6	ストアードフェアシステム導入に伴い新カード「ユリカ」発売・使用開始 名古屋市交通問題調査会第4次答申に基づく市バス路線再編成 都心ループバス運行開始
	10. 1	定期券乗降確認システム導入
平成11年 (1999)	3. 1	名古屋市交通局ホームページ開設
	4. 1	地下鉄全駅へ分別ごみ箱を設置
	12. 7	名城線・4号線にLED案内表示器設置
平成12年 (2000)	1. 19	地下鉄4号線大曽根・砂田橋間（1.7km）開通 地下鉄駅券売機に「ユリカ」積み増し機能を設置
	3. 18	なごや城ループバス運行開始
	4. 12	地下鉄車両冷房化率100%を達成
	6. 2	市電・地下鉄保存館（愛称：レトロでんしゃ館）開館
	6. 30	CNG（圧縮天然ガス）ノンステップバスの運行開始
	9. 11	東海豪雨の被害により、市バス・地下鉄の一部区間運休（地下鉄は13日全線復旧、バスは17日全線復旧）
	9. 18	地下鉄車両外側ステッカー広告の開始
	12. 16	地下鉄車内の混雑時における携帯電話の電源を切るよう自粛の呼びかけ強化（市バス車内については、H13.3.23より実施）
平成13年 (2001)	3. 23	ゆとりーとライン（ガイドウェイバスシステム志段味線）運行開始
	7. 2	ラッピング市バスの運行開始
	12. 22	ラッピング地下鉄の運行開始
平成14年 (2002)	3. 15	インターネットによる定期券予約購入申込の受付開始
	3. 25	交通局ホームページに地下鉄駅構内案内図を掲載
	4. 1	公立学校週5日制の実施などに伴い、バスのダイヤ改正（土曜日を中心に運行回数見直し） 携帯電話への市バス・地下鉄時刻表の提供
	4. 6	東山線土曜ダイヤを日曜・休日ダイヤに統合
	8. 1	市営交通事業80周年記念式典・シンポジウム
	9. 30	東山線に女性専用車両を試行導入（始発～9時）
	10. 12	栄バスターミナル（オアシス21のりば）開設

年 月 日		主 要 事 項
平成15年 (2003)	2. 7	名城線全駅に電車緊急停止装置設置
	3. 6	鶴舞線全駅に電車緊急停止装置設置
	3. 18	市営交通事業中期経営健全化計画の策定
	3. 27	上飯田連絡線の完成により、地下鉄上飯田線 上飯田・平安通間（0.8km）開通、同時に名 鉄小牧線と相互直通運転の開始 鶴舞線の終車延長、カードによる共通利用シ ステム「トランパス」導入
	7. 1	バスターミナル、バス停留所の全面禁煙化
平成16年 (2004)	12. 13	地下鉄4号線砂田橋・名古屋大学間（4.5km） 開通
	3. 9	地下鉄4号線全駅に電車緊急停止装置設置
	3. 27	東山線の保安装置をATSからATCに変更 東山線全駅にLED案内表示器設置 東山線全駅に電車緊急停止装置設置
	6. 1	「ループ金山」オープン
	10. 6	地下鉄4号線名古屋大学・新瑞橋間（5.6km）開通 名城線・4号線の環状部を名城線に、金山・ 名古屋港間を名港線に路線名変更 地下鉄藤ヶ丘を藤が丘に、瑞穂運動場を瑞穂 運動場西に駅名変更 名城線で環状運転開始 地域巡回系統運行開始 バス運行総合情報システム稼働
	11. 1	定期利用サービス「ツカッティキ」の開始 (H23.1まで)
平成17年 (2005)	3. 4	地下鉄車両工場がISO14001取得
	3. 19	ささしま・名城シャトルバス運行開始（～9.25 まで土・日・休日運行）
	3. 25	2005年日本国際博覧会「愛・地球博」開催（～9.25）
	3. 26	ものづくりと文化のルートバス運行開始 （～9.25まで土・日・休日運行）
	4. 1	市バス通勤定期券の持参人方式開始 市バス通勤定期券の「ファミリーバス定期」 サービス開始
	5. 29	花バス最後の運行（5.26～5.29）
	8. 1	第1期ハッチャーキッズクラブ結成
	10. 6	名城線環状化1周年記念キャンペーン（～10.10）
	11. 15	地下鉄駅等職員のサービス介助士資格取得
	11. 29	市バスの系統別営業係数のバス停PR
	12. 21	「AED（自動体外式除細動器）」6台を高畑駅等に配備
平成18年 (2006)	2. 1	優先席マークの変更と優先席の増設
	3. 29	市営交通事業経営改革計画策定
	3. 31	市バスダイヤ改正、地域巡回バス停留所の新設等
	4. 1	「なごや乗換ナビ」サービス開始 市バス通勤定期券を全線定期券へ統合、バス 地下鉄全線定期券の値下げ ドニチエコきっぷ、特得60バス定期開始 「こども110番の駅」実施
	4. 17	「耳マーク」掲示開始
	6. 12	市バス・地下鉄環境家計簿のモニター実施（～7.2）
	9. 16	ドニチエコきっぷの事前発売、発売場所の拡充
	11. 20	市バス営業所職員等のサービス介助士資格取得

年 月 日		主 要 事 項
平成19年 (2007)	1. 15	市バス車内に筆談具設置
	3. 18	鶴舞線開業30周年記念イベントの開催
	3. 19	地下鉄ホームのメロディサイン全線導入
	3. 27	地下鉄全駅で公衆無線LANサービス開始
	4. 1	大森営業所の管理の委託開始、地下鉄上飯田 線運転業務の委託開始、市バスのダイヤ改正、 「なごや地図ナビ」サービス開始、「会社名等」 で利用できるバス・地下鉄全線定期券の発売
	5. 30	交通局OBボランティアの活動開始
	11. 1	地下鉄駅ギャラリーの無料化
	11. 11	地下鉄開業50周年記念事業メインイベントの開催
	12. 7	ISO9001の取得（鳴尾営業所、名古屋駅、栄駅） (H24.3まで)
平成20年 (2008)	2. 23	ドニチエコきっぷ販売数500万枚突破
	3. 18	“ありがとう”宣言
	4. 1	市バス通学定期券（中学生以上・4キロ超） を全線化、市バスダイヤ改正
	6. 2	東山線女性専用車両の運行時間帯拡大（17 時から21時）
	9. 1	早期地震警報システムの地下鉄全路線導入
平成21年 (2009)	10. 1	「なごや得ナビ」サービス開始
	1. 29	接客コンクール開催
	3. 14	JR南大高駅前広場への市バスの乗り入れ開始
	3. 18	名城線・名港線の全駅ホームで発車時刻LED案内開始
	4. 1	浄心営業所の管理の委託開始
	7. 29	鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転30周年記念行事
	9. 20	桜通線開業20周年記念イベント開催
平成22年 (2010)	10. 1	民営バス撤退に伴う守山区上志段味地区への市バス乗り入れ
	10. 3	ドニチエコきっぷ1,000万枚突破
平成23年 (2011)	3. 1	学生定期券の発売
	3. 21	市バス開業80周年感謝祭
	3. 31	市営交通事業経営健全化計画の策定
	8. 4	バイオディーゼル燃料バス運行開始
	8. 30	地下鉄駅改札外トイレヘイトイレトパー設置
	12. 1	桜通線新型車両へハッチャービジョン（液晶式 車内案内表示装置）設置
平成23年 (2011)	1. 22	地下鉄桜通線可動式ホーム柵使用開始式
	2. 11	マナカサービス開始、ユリカ販売停止、学生 定期券の値下げ
	2. 28	地下鉄桜通線ダイヤ改正
	3. 11	東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）発生
	3. 27	地下鉄桜通線野並・徳重間（4.2km）開通 バス路線の再編成及び運行の見直し 駅業務委託開始 （名港線：日比野駅・六番町駅・港区役所駅・築地口駅、 桜通線：鳴子北駅・相生山駅・神沢駅）
	5. 2	西部医療センターの開設に伴う市バスの乗り入れ

年 月 日		主 要 事 項
平成24年 (2012)	3. 1	ユリカ使用停止
	4. 1	運転指令室を統合 女性用運輸制服等のデザイン変更を実施 野並営業所の管理の委託開始
	4. 21	マナカ・TOICAの乗車券機能の相互利用 開始、JR東海との連絡定期券の発売 クレジットカードによる定期券販売開始（市バス・地下鉄のみ）
	8. 1	学生がデザインした「三英傑バス」の運行を開始
	8. 10	広報なごや特集号（エリア別路線図）を名古屋市内の全戸配布
	11. 18	市営交通90周年記念メインイベント
平成25年 (2013)	3. 20	「地下鉄安全ガイドブック」を駅長室等で配布
	3. 23	マナカをはじめ全国10の交通系ICカードの 全国相互利用サービス開始
	3. 31	自動車工場閉所
	4. 5	名古屋市立大学に学生がデザインした「マナ カ付学生証」の導入
	8. 1	地下鉄鶴舞線・名鉄犬山線相互直通運転 20周年記念イベントの実施（～9.1）
	10. 14	駅ちかウォーキング参加者20万人突破セレモニー実施
	12. 20	東山線最終電車延長の試行実施（2回目12.27）
平成26年 (2014)	12月	市バス・地下鉄累計乗車人員300億人達成
	4. 1	浄心営業所楠分所を開所（三重交通管理委託） 運転と駅務の兼務化試行実施（東山線運転区：高畑町） バス運行総合情報システムの更新に合わせ、 市バス全車両で緊急地震速報の受信開始
	7. 4	地下鉄東山線の終電時刻延長
	7. 21	駅ちかコンサート開始
	9. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の 料金改定 「マナーアップトレイン」の運行（～10.31）
	9. 25	名古屋駅 軌道内冠水による東山線の一時、 区間運休
	9. 30	自動車運送事業の経営健全化計画完了の報告
	10. 17	姉妹都市とのデザイン交流事業「トリノラッピ ングバス」の運行（3両・最長6ヵ月間）
	11. 16	名城線環状化10周年記念イベントの開催
	12. 12	交通局発売「マナカ200万枚突破キャンペーン」 の実施（～12.31）
平成27年 (2015)	4. 1	地域巡回バスの運行時間帯の拡大をはじめと した市バスのダイヤ改正等の実施 東山線における女性専用車両の運行時間帯 を、平日の始発から終発までに拡大
	5. 1	運転と駅務の兼務化実施 （東山線運転区：岩塚駅、名城線運転区：名古屋港駅）
	7. 4	レトロでんしゃ館 入館100万人達成
	8. 30	東山線5000形車両引退記念イベント（ラストラン）の開催
	9. 7	地下鉄東山線可動式ホーム柵使用開始式
	10. 3	ナゴヤ・パフォーマー事業 「Nagoya POP UP ARTIST」開始
	10. 3	駅ちかウォーキング参加者30万人突破セレモニー実施
	10. 24	駅ちかウォーキング通算開催100回達成
	11. 16	「名古屋市営交通事業経営計画（2015-2018）」の策定
	11. 21	地下鉄駅（85駅）に無料公衆無線LAN「NAGOYA Free Wi-Fi」を整備完了
	12. 1	市バス・地下鉄の優先席付近における携帯電話使用マナーの変更
	12. 4	鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス時刻の延長の試行実施

年 月 日		主 要 事 項
平成28年 (2016)	2. 24	複数面のデジタルサイネージによる「名古屋駅 スクエアビジョン広告」の運用開始
	3. 16	交通局公式ウェブサイトのリニューアル
	4. 1	市バスの運行支援システム全車運用開始 駅業務委託開始（東山線：八田駅・中村公園 駅・中村日赤駅・本陣駅・亀島駅） 精神障害者への割引料金の適用 なごや市バス・地下鉄応援寄附金の募集開始
	5. 1	地下鉄名古屋駅におけるコンシェルジュの配置
	7. 1	東山線の一部ワンマン運転化の実施 運転と駅務の兼務化実施（東山線運転区： 池下駅・星ヶ丘駅・藤が丘駅） 英語版「なごや得ナビ」冊子の発行
	7. 4	女性専用車両の路線拡大（名城線・名港線、 平日の始発から午前9時まで）
	9. 1	敬老バス、福祉特別乗車券（児童福祉施設 入所児童等）のICカード化
	11. 1	福祉特別乗車券（身体・知的・精神障害者等） のICカード化
	12. 2	鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス 時刻の延長の本格実施
平成29年 (2017)	2. 14	ハート型つり革をつけた「ハート♡バス」の 運行（～30.2.14）（2.11 プレイベント実施）
	3. 1	市バス「黒川11系統（黒川～北部市場）」を 県営名古屋空港まで延伸する社会実験
	3. 31	市バス全車両ノンステップバス化
	4. 1	名古屋駅バスターミナルへの市バスの乗入れ 及び都心ループバスの大須地区への延伸
	5. 20	駅ちかウォーキング参加者40万人突破 セレモニー実施
	7. 1	東山線の完全ワンマン化実施
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：ナ ゴヤドーム前矢田駅、鶴舞線運転区：赤池駅）
	8. 2	IC敬老バス更新事務の受託業務開始
	10. 1	1日乗車券の紙券化
	11. 1	優先席付近へのヘルプマークステッカーの掲出
	11. 5	地下鉄開業60周年記念メインイベント in 藤が丘工場の実施
平成30年 (2018)	1. 4	平針運転免許試験場建替え工事による市バス の増強運行
	3. 14	地下鉄にてマナカのオートチャージサービス開始
	3. 26	名古屋ことばによる駅構内放送 名古屋城をモチーフにした市役所駅の装飾
	4. 14	体験型謎解きゲームの開催（～30.9.2）
	5. 1	同伴幼児の無料人数を保護者1人につき2人 から4人へ拡大
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区： 砂田橋駅、桜通線運転区：中村区役所駅）
	10. 16	新たな市バス・地下鉄乗車マナー啓発ポスター ～あなたとわたしでほっこり乗ろう～の掲出開始
平成31年 (2019)	2. 12	市バス港明営業所の開所
	3. 25	「栄噴水南バスターミナル」の閉鎖に伴うバス停の移転
令和元年	3. 28	「名古屋市営交通事業経営計画2023」の策定
	4. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：瑞穂 運動場東駅、鶴舞線運転区：庄内緑地公園駅）
	4. 22	交通局公式Instagram、Facebookの開始
	5. 27	地下鉄全線24時間券の発売、地下鉄一日乗車券の販売終了
	10. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の料金改定
	11. 2	市バス90周年記念イベントの開催
	12. 11	駅ナカ商業施設「ヨリマチFUSHIMI」開業

年 月 日	主 要 事 項
令和2年 (2020)	5.25 地下鉄名城線・名港線可動式ホーム柵稼動 7.21 地下鉄マナー啓発ポスター作品募集 8.31 新しい生活様式に対応したウォーキング開催 10.17 バス運転士（大型二種免許未取得者対象） 採用選考（一次）の実施 11. 1 地下鉄マナー啓発ポスター入選作品を展示し た電車の運行及び入選作品の駅への展示 11.16 名古屋市観光周遊セット券の発売 11.30 マナカ10周年ありが10(とう)キャンペーン実施 12.24 幸せを呼ぶ黄色い地下鉄「イエロートレイン」 運行
令和3年 (2021)	3.25 名古屋市交通局採用サイト (バス運転士 地下鉄駅務員 技術員)の開設 3.27 市バス・地下鉄車両に抗ウイルス加工の実施 4. 1 市バス沿線フォトコンテストの開催 (千種・昭和区編) 7. 1 運転と駅務の兼務化実施 (名城線運転区： 平安通駅、鶴舞線運転区：浄心駅、桜通線 運転区：野並駅) 7.19 市営交通100周年記念事業の愛称 キャッチ コピー ロゴマークを公表 8. 1 100年祭サイト・Twitterを開設 100周年PR動画・オンライン仕事見学を公開 仕事紹介ポスターを掲出 8.15 駅職員が「鯨の大祭典 (名古屋グランパス) ・市営交通100周年コラボTシャツ」を着用 8.22 オンラインイベント「まるごと名古屋の交通 局」を開催
令和4年 (2022)	2.15 クレジットカード対応券売機を導入 4. 1 特得60バス定期の制度変更 4. 2 高速1系統の廃止 4.11 ウィンザーイエローを再び!『黄電復活』応援 プロジェクト クラウドファンディングの実施 (～6.30) 7. 1 運転と駅務の兼務化実施 (名城線運転区： 市役所駅、新瑞橋駅、鶴舞線運転区：丸の 内駅、桜通線運転区：徳重駅)

年 月 日	主 要 事 項
令和4年 (2022)	7. 6 市バス・地下鉄職員が「市営交通100周年× 名古屋グランパスクラブ30周年コラボポロシヤ ツ」を着用 7.11 昭和にタイムスリップ!? 復刻デザイン『レト ロカラーバス』応援プロジェクト クラウド ファンディングの実施 (～9.30) 8. 1 市営交通100周年 「黄電メモリアルトレイン」(東山線) 運行開始 (～5.1.22) (名城線・名港線は8.8 開始 (～5.1.29)) 市営交通100年祭お誕生日会の開催 9.17 地下鉄東山線ダイヤ改正 10.27 名古屋駅、栄駅、市役所駅にレゴ® ブロックで 製作した地下鉄案内図の設置 (東山公園駅は 12.5に設置) 11.12 市営交通100年祭メインイベント『100YEARS FESTIVAL!!』開催 名古屋市交通局ロゴマークの制定 11.13 「レトロカラーバス」運行開始 (運行終了は バス車両で異なる) 12. 1 制服の変更
令和5年 (2023)	1. 4 中村区役所を太閤通に、市役所を名古屋城に、 伝馬町を熱田神宮伝馬町に、神宮西を熱田神宮 西に駅名変更 3.14 名古屋駅・栄駅・金山駅に旅行者向け券売機 を導入 3.17 名古屋市立大学と包括連携協定の締結 3.25 東山線1編成へ車内デジタルサイネージ広告の 設置 (順次残りの20編成へ設置) 4. 1 運転と駅務の兼務化実施 (名城線運転区： 大曽根駅、桜通線運転区：桜山駅) 燃料電池バス基幹1系統 運行開始 (試行導入) 7. 1 マナカマイレージポイントの制度変更

なごや市バス・地下鉄応援寄附金 募集中!



集まった寄附金は、市バス停留所や地下鉄駅のベンチの整備などに活用させていただきます。



魅力的な返礼品をご用意しています。



名古屋市交通局

Transportation Bureau City of Nagoya

名古屋市交通局ウェブサイト

<https://www.kotsu.city.nagoya.jp/>



SNS情報 ▶



運行情報
Twitter



Instagram



Facebook

編集・発行／名古屋市交通局営業本部総務部広報広聴課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 052-972-3809 FAX 052-972-3849

<http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>

印刷／株式会社鈴活印刷

発行年月／令和5(2023)年7月

発行部数／1,300部

